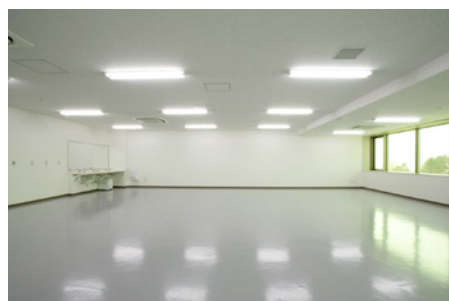


塗床材 総合カタログ

SKK FLOOR COATINGS



エスケー化研

あらゆるニーズに応える エスケー化研の塗床材シリーズ

今日、床に求められる性能は
ますます多様化しています。

例えば、工場・倉庫では、耐衝撃性、耐摩耗性に
優れた耐久性の高い製品が求められ、また、学校・
病院等では環境に配慮した製品が求められます。
エスケー化研では、優れた性能を備える塗床材を、
各種取り揃えております。

さまざまな用途に応じて
最適な製品をお選びください。



INDEX

製品別用途一覧表	2
製品一覧表	3
耐薬品性資料	5
環境対応状況一覧	6
標準色一覧	6
製品紹介	
SK スペシャルフロアー	7
アーキフロアー EH 無溶剤	9
アーキフロアー EH 無溶剤 ローラー用	11
SK セラミフロアー	12
水性速硬型ミラクフロアー	13
アーキフロアー EH マイルド	14
アーキフロアー EH	15
水性アーキフロアー U	16
アーキフロアー UT	17
アーキフロアー AWG	18
アーキフロアー AW	19
アーキフロアー AS	20
SK バリヤーコート	21
アーキタイトエコ	22
施工上の注意点	23
下地処理工法 施工手順	25
床用下地調整材	27
注意点／危険情報と安全対策	29

製品別用途一覧表 (上塗材)

分類	製品名	用途																										
		工場床						倉庫・搬送床		オフィス・マンション					学校・病院					レジャー施設					駐 車 場・駐 輪 場			
		一 般 工 場	機 械 工 場	食 品 工 場	化 学 工 場	精 密 工 場	機 械 室・電 気 室	更 衣 室・事 務 室	台 車・手 押 し 車	フ ォ ーク リ フ ト・車 両	※2 冷 蔵・冷 凍 倉 庫	事 務 室	〇 A フ ロ ア ー	化 粧 室	廊 下・階 段	ベ ラ ン ダ	教 室	実 験 室	病 室	廊 下・階 段	食 堂	厨 房	レ ス ト ラン	テ ニ ス コ ー ト		プ ール サ イ ド	遊 歩 道	ア ス フ アル ト
厚膜型	SKスペシャルフロアー	○		◎	◎	○	○	○	◎	◎	○										○	◎						
	アーキフロアー EH 無溶剤	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○		○	(○)			◎	◎	(○)	◎	○						(○)
	アーキフロアー EH 無溶剤ローラー用	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○		○	(○)			◎	◎	(○)	◎	○						(○)
薄膜型	SKセラミフロアー	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	◎	○	○	○	○	○				○		○	○
	水性速硬型 ミラクフロアー	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○		○	○	○	○	○							(○)
	アーキフロアーEH マイルド	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	(○)		○	○	○	(○)	○							(○)
	アーキフロアーEH	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	(○)		○	○	○	(○)	○							(○)
	水性アーキフロアー U	○		○		○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○					※3 ◎	◎	○
	アーキフロアーUT	○		○		○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○		○	○
	アーキフロアーAWG	※4 ○											○		○					○						※3 ◎	◎	
	アーキフロアーAW	※4 ○											○			○								○		※3 ◎	◎	
	アーキフロアーAS	※4 ○							○						○					○							○	
浸透型	SKバリヤーコート	○					○	○	○		◎	○	◎															○
	アーキタイトエコ	○					○	○	○	○	◎	○	◎															(○)

◎：最適 ○：適用可

()：内部のみ適用可能

- ※ 1 高温洗浄などの厳しい条件下では、塗膜が剥離する場合がありますので、選定に際して、詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※ 2 扉付近などの外気が流入する部分は、結露により塗膜異状（白化や剥離）が発生しやすくなります。また、十分に換気し、最終養生（23℃、7日以上）を行った上で冷蔵・冷凍庫を稼働させてください。換気・養生が不十分な場合、硬化不良や食材への臭い移りが発生します。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※ 3 密粒アスファルト以外は施工できません。
- ※ 4 フォークリフトなど、荷重のかかる通路へは不向きです。

製品一覧表

タイプ	製品名	特長・用途	荷姿	可使時間*	
上塗材	★SKスペシャルフロアー F-4M ※1	SKスペシャルフロアーは、強靱性、耐熱水性、耐薬品性に優れ、また重車両の走行に耐える、耐久性の高い塗床材です。	主剤3kg缶、硬化剤3.3kg缶、粉体14kg袋	10分	
	★SKスペシャルフロアー NS-4M ※1		主剤2kg缶、硬化剤2kg缶、粉体16kg袋		
	★SKスペシャルフロアー NS-6M ※1		主剤2kg缶、硬化剤2kg缶、粉体18kg袋		
	★アーキフロアー EH 無溶剤	厚膜タイプのエポキシ塗床材です。耐荷重性、耐薬品性、耐久性に優れています。	主剤15kg石油缶、5kg缶 硬化剤3kg缶、1kg缶	30分	
	★アーキフロアー EH 無溶剤 ローラー用	セルフレベリング性に優れているため、ローラーで簡単に施工できます。	主剤15kg石油缶、5kg缶 硬化剤3kg缶、1kg缶	30分	
	★SKセラミフロアー	シロキサン結合を構造内に持つことにより、無機質下地と化学的に密着し、また耐薬品性に優れます。	主剤14kg石油缶、3.5kg缶 硬化剤1kg缶、0.25kg缶	5時間	
	水性速硬型ミラクフロアー	水性でありながら、溶剤形塗料に匹敵する、耐摩耗性、耐薬品性を示します。	主剤12kg石油缶、 硬化剤3kg缶	4時間	
	★アーキフロアー EHマイルド	架橋密度の高い塗膜は、優れた耐摩耗性、防塵性を発揮します。また、弱溶剤形のため旧塗膜を侵すことなく幅広く施工できます。	主剤12kg石油缶、4kg缶 硬化剤3kg缶、1kg缶	5時間	
	★アーキフロアー EH	硬くて強靱な塗膜は、耐摩耗性、耐汚染性に優れています。	主剤12kg石油缶、4kg缶 硬化剤3kg缶、1kg缶	2時間	
	☆水性アーキフロアー U	水性反応硬化形ウレタン樹脂をベースとした強靱な塗膜は、優れた耐摩耗性、耐薬品性と共に、高い耐候性を示し、紫外線による劣化、変退色を抑えます。	主剤15kg石油缶、4kg缶 硬化剤1.5kg缶、0.4kg缶	3時間	
	★アーキフロアー UT	無黄変型のアクリルウレタン樹脂で構成されているため、色の安定性、耐候性に優れています。また、優れた耐汚染性、耐摩耗性を発揮します。	主剤12kg石油缶、4kg缶 硬化剤3kg缶、1kg缶	3時間	
	アーキフロアー AWG	特殊アクリルエマルジョンを結合材とした水系塗床材です。溶剤形に匹敵する性能を発揮し、優れた耐久性、高い光沢を示します。	15kg石油缶、4kg缶	—	
	アーキフロアー AW	防塵性に優れた水性アクリル樹脂系塗床材です。	20kg石油缶、4kg缶	—	
	★アーキフロアー AS	一液形のアクリル塗床材です。手軽に塗れて防塵性、耐候性に優れ、経済的です。	15kg石油缶、4kg缶	—	
	SKバリアーコート	水性タイプのコンクリート表面強化材です。床面の耐摩耗性を高め、粉塵を抑制します。	18kg石油缶	—	
	アーキタイトエコ	ハイスリッドタイプの水性コンクリート浸透表面強化材です。床面内部深くまで浸透し、硬く緻密で耐摩耗性を高めた表面に改質します。	18kg石油缶	—	
下塗材	水性速硬型ミラクフロアープライマー	水性速硬型ミラクフロアーの専用プライマー	主剤8kg石油缶、硬化剤4kg缶	5時間	
	★エスケー強化シーラー	アーキフロアー EH マイルドに使用可能な含浸補強効果に優れた弱溶剤シーラー	主剤12kg石油缶、硬化剤3kg缶	5時間	
	★アーキフロアー EHプライマー	エポキシ樹脂系塗床材の専用プライマー。アーキフロアー EH・EH無溶剤・EH無溶剤ローラー用に使用	主剤12kg石油缶、4kg缶 硬化剤3kg缶、1kg缶	5時間	
	★ミラクシーラー EPO	エポキシ樹脂系下塗材で、アーキフロアー UT の専用プライマー	主剤10kg石油缶、硬化剤5kg缶	5時間	
	★ミラクフロアー MHプライマー	床面の塗り替え用にミラックリーナーと併用して湿潤・湿油面に使用	主剤8kg石油缶、硬化剤8kg缶	5時間	
	水性アーキフロアープライマー	水性アーキフロアーU、アーキフロアー AWGの専用プライマー	15kg石油缶	—	
	★SK # 2000 プライマー	SKセラミフロアーの専用プライマー	主剤15kg石油缶、5kg缶 硬化剤1.5kg缶、0.5kg缶	5時間	
副資材	油面クリーナー	ミラックリーナー	含浸・付着している鉱油、植物油などを除去し、緻密な下地をエッチングする洗浄剤	10kg ポリ缶	—
	エポキシパテ	★SK コークH	ひび割れの充填用エポキシ樹脂系パテ材 夏型(SKコークHS)、冬型(SKコークHW)	A剤2kg缶、B剤2kg缶	夏型:1時間 冬型:30分
	エポキシセメントモルタル	★SK ウェットフィラー	コンクリート床面の不陸調整用エポキシポリマーセメント系下地調整材。工期短縮形のコンクリート・モルタル用下地調整材としても使用可	主剤2kg缶、硬化剤4kg缶、 粉体10kg袋	20分
	目止め材	アーキミックス	アーキフロアー EH無溶剤・EH無溶剤ローラー用の平滑工法、樹脂モルタル工法に使用	3kg袋	—
	骨材	けい砂 5号・6号・7号	NS工法用骨材	各25kg袋	—
	希釈用シンナー	★塗料用シンナー A	アーキフロアー EHマイルドの専用シンナー	16ℓ 石油缶	—
		★EHシンナー	アーキフロアー EHの専用シンナー	16ℓ 石油缶	—
		★アーキUシンナー	アーキフロアー UTの専用シンナー	16ℓ 石油缶	—
		★エナメル用シンナー	アーキフロアー ASの専用シンナー	16ℓ 石油缶	—
		★SKセラミフロアーシンナー	SKセラミフロアーの専用シンナー	16ℓ 石油缶	—
		★SK # 2000 プライマーシンナー	SK#2000プライマーの専用シンナー	16ℓ 石油缶	—

★塗料用シンナーAで希釈する製品については、★塗料用シンナーAの他、★塗料用シンナーXもご使用いただけます。
ただし、その他の材料の使用は避けてください。

* 23℃条件下

危険情報と安全対策

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。特に、荷姿欄に★印のついている製品は危険物であり、☆印のついている製品は水性形硬化剤で取り扱いに注意が必要なため、P.29からの「危険情報と安全対策」をよくお読みください。

	ホルムアルデヒド放散等級	樹脂系	区分	光沢	工法	膜厚	標準塗坪(セット)	掲載頁
	F☆☆☆☆	特殊合成樹脂	水性	艶消し	平滑タイプ	4.0mm	—	7,8
					防滑タイプ	4.0mm		
					防滑タイプ	6.0mm		
	F☆☆☆☆	エポキシ樹脂	無溶剤	艶有り	平滑工法(薄膜流しのべ仕上げ)	0.8mm	16.3㎡	9,10
						1.0mm	13.8㎡	
					NS工法(薄膜流しのべ防滑仕上げ)	1.5mm	18㎡	
					ペースト工法(厚膜流しのべ仕上げ)	2.0mm	8㎡	
					ペーストNS工法(厚膜流しのべ防滑仕上げ)	2.5mm	7.4㎡	
					樹脂モルタル工法(樹脂モルタル仕上げ)	5.0mm	6.1㎡	
					樹脂モルタルNS工法(樹脂モルタル防滑仕上げ)	5.5mm	5.7㎡	
	F☆☆☆☆	エポキシ樹脂	無溶剤	艶有り	平滑工法(薄膜流しのべ仕上げ)	1.0mm	13.8㎡	11
					NS工法(薄膜流しのべ防滑仕上げ)	1.5mm	18㎡	
	F☆☆☆☆	アクリルシリコン樹脂	溶剤	艶有り	平滑工法(コーティング仕上げ)	—	53㎡	12
					NS工法(防滑仕上げ)	—	39㎡	
	F☆☆☆☆	エポキシ樹脂	水性	艶有り	平滑工法(コーティング仕上げ)	—	50㎡	13
					NS工法(防滑仕上げ)	—	33㎡	
	F☆☆☆☆	エポキシ樹脂	弱溶剤	艶有り	平滑工法(コーティング仕上げ)	—	42㎡	14
					NS工法(防滑仕上げ)	—	27㎡	
	F☆☆☆☆	エポキシ樹脂	溶剤	艶有り	平滑工法(コーティング仕上げ)	—	42㎡	15
					NS工法(防滑仕上げ)	—	25㎡	
	F☆☆☆☆	ウレタン樹脂	水性	艶有り	平滑工法(コーティング仕上げ)	—	55㎡	16
					NS工法(防滑仕上げ)	—	34㎡	
	F☆☆☆☆	ウレタン樹脂	溶剤	艶有り	平滑工法(コーティング仕上げ)	—	42㎡	17
					NS工法(防滑仕上げ)	—	28㎡	
	F☆☆☆☆	アクリル樹脂	水性	艶有り	平滑工法(コーティング仕上げ)	—	50㎡	18
					NS工法(防滑仕上げ)	—	33㎡	
	F☆☆☆☆	アクリル樹脂	水性	艶消し	平滑工法(コーティング仕上げ)	—	66㎡	19
					NS工法(防滑仕上げ)	—	33㎡	
	F☆☆☆☆	アクリル樹脂	溶剤	艶有り	平滑工法(コーティング仕上げ)	—	42㎡	20
	F☆☆☆☆	ケイ酸塩系	水性	—	散布型	—	180~300㎡(新築) 72~180㎡(改修)	21
	F☆☆☆☆	特殊ケイ酸塩系	水性	—	散布型	—	180~300㎡(新築) 72~180㎡(改修)	22
	F☆☆☆☆	エポキシ樹脂	水性	—	—	—	60~80㎡	13
	F☆☆☆☆	エポキシ樹脂	弱溶剤	—	—	—	75~100㎡	14
	F☆☆☆☆	エポキシ樹脂	溶剤	—	—	—	75~100㎡	9,10, 11,15
	F☆☆☆☆	エポキシ樹脂	溶剤	—	—	—	50~75㎡	17
	F☆☆☆☆	エポキシ樹脂	溶剤	—	—	—	80~106㎡	27
	F☆☆☆☆	特殊合成樹脂	水性	—	—	—	75~100㎡	16,18
	F☆☆☆☆	特殊変性樹脂	溶剤	—	—	—	97~117㎡	12
	—	—	—	—	—	—	—	27
	—	—	—	—	—	—	—	27
	F☆☆☆☆	エポキシ樹脂	溶剤	—	—	—	—	28
	—	—	—	—	—	—	—	9,10,11
	—	—	—	—	—	—	—	9~19
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—

※ 1 ★SKスペシャルフロアーは欠込目地を入れる等の下地調整が必要となります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

エポキシ系の材料は、かぶれなどの皮膚障害を起こすおそれがありますので、使用の際には、手袋、保護衣などの適切な保護具を使用してください。
特別有機溶剤等は、屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

耐薬品性資料

評価：◎ 優れている ○ やや変化あり △ 多少異常あり × 防食材として不適

製 品 薬 品			SKSベンシャルフロアー		アーキフロアーEH無溶剤	アーキフロアーEH無溶剤コーラー用	SKセラミフロアー	水性速硬型ミックスフロアー	アーキフロアーEHマイルド	アーキフロアーEH	水性アーキフロアーU	アーキフロアーUT	アーキフロアーAWG	アーキフロアーAW	アーキフロアーAS
			F	NS											
酸 類	塩 酸	10%	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	△	△	△
		20%	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	△	△	△
	硫 酸	5%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	○
		10%	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	○	◎	△	×	△
		20%	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	○	◎	×	×	△
	硝 酸	5%	△	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	×
		10%	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×
		20%	×	×	○	○	○	◎	×	×	◎	×	×	×	×
	磷 酸	10%	◎	◎	○	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	×	◎
		20%	◎	◎	×	×	◎	○	○	○	◎	◎	△	×	◎
		30%	◎	◎	×	×	○	○	○	○	◎	◎	×	×	○
	酢 酸	5%	◎	◎	△	△	○	◎	◎	◎	◎	△	△	○	×
		20%	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		30%	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	乳 酸	5%	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	×
		20%	◎	○	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	×
		30%	◎	○	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	△	×
	クエン酸	10%	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	×	×	○
		20%	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	×	×	○
	オレイン酸	飽和	◎	◎	○	○	◎	△	○	◎	◎	◎	△	×	◎
アルカリ類	水酸化ナトリウム	10%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○
		20%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	△	○
		30%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	△	○
	水酸化カリウム	10%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○
	水酸化カルシウム	飽和	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	アンモニア	10%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×
		20%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×
塩 類	炭酸バリウム	飽和	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
	塩化カルシウム	飽和	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	塩化マグネシウム	飽和	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	炭酸ナトリウム	飽和	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
有機溶剤	メタノール	—	◎	◎	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×
	エタノール	—	◎	◎	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×
	イソプロピルアルコール	—	◎	◎	×	×	×	×	×	◎	△	×	×	×	×
	フェノール	10%	○	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	トルエン	—	◎	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	キシレン	—	◎	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	アセトン	—	◎	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	メチルイソブチルケトン	—	◎	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	酢酸エチル	—	◎	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	四塩化炭素	—	◎	◎	×	×	×	△	×	○	×	×	×	×	×
消毒液	過酸化水素水	30%	◎	×	×	×	◎	◎	×	◎	◎	◎	×	×	×
	次亜塩素酸ナトリウム	1%	○	○	○	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	△
生活材	ガソリン	—	◎	◎	△	△	×	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×
	灯 油	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×
	水 道 水	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
	醤 油	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○
	ソ ー ス	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○
	コ ー ヒ ー	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○
食 材	食 酢	—	○	○	△	△	△	○	◎	◎	◎	△	×	×	×

試験条件：23℃、7日間浸漬

環境対応状況一覧

注) 当カタログ製作時における指定物質。

各法令における規制物質 ^{注)}				厚生労働省											その他
				文部科学省						室内濃度指針値※					
				国土交通省「建築基準法」		学校環境衛生の基準									
種別	製品名	一般名称	区分	ホルムアルデヒド 放散等級	クロル ピリホス	トルエン	キシレン	エチル ベンゼン	パラジクロ ベンゼン	フタル酸・ジ n-ブチル	テレフタル	フタル酸・ジ-2- エチルヘキシル	ダイアジン	アセトアル デヒド	フェノール
厚膜型	SK スペシャルフロアー	水性厚膜型 特殊合成樹脂系塗床材	水性	F☆☆☆☆	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず
	アーキフロアー EH 無溶剤	無溶剤エポキシ樹脂系塗床材	無溶剤	F☆☆☆☆	配合せず	配合せず	1未満	1未満	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず
	アーキフロアー EH 無溶剤ローラー用	無溶剤エポキシ樹脂系塗床材	無溶剤	F☆☆☆☆	配合せず	配合せず	1未満	1未満	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず
薄膜型	SK セラミフロアー	アクリルシリコン樹脂系塗床材	溶剤	F☆☆☆☆	配合せず	1～10	5～30	5～25	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず
	水性速硬型ミラクフロアー	水性速硬型 エポキシ樹脂系塗床材	水性	F☆☆☆☆	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず
	アーキフロアー EH マイルド	弱溶剤形 エポキシ樹脂系塗床材	弱溶剤	F☆☆☆☆	配合せず	配合せず	1未満	1未満	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず
	アーキフロアー EH	エポキシ樹脂系塗床材	溶剤	F☆☆☆☆	配合せず	5～10	1～20	1～20	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず
	水性アーキフロアー U	水性ウレタン樹脂系塗床材	水性	F☆☆☆☆	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず
	アーキフロアー UT	ウレタン樹脂系塗床材	溶剤	F☆☆☆☆	配合せず	10～15	10～30	10～25	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず
	アーキフロアー AWG	水性アクリル樹脂系塗床材	水性	F☆☆☆☆	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず
	アーキフロアー AW	水性アクリル樹脂系塗床材 (艶消し)	水性	F☆☆☆☆	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず
	アーキフロアー AS	溶剤形アクリル樹脂系塗床材	溶剤	F☆☆☆☆	配合せず	配合せず	20～35	1～30	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず
浸透型	SK バリヤーコート	コンクリート表面強化材	水性	F☆☆☆☆	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず
	アーキタイトエコ	コンクリート表面強化材	水性	F☆☆☆☆	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず	配合せず

一覧表の見方

- 各省庁の規制物質について表記しています。
- ホルムアルデヒドは放散等級区分を表示。
- この表は予告なく変更することがあります。ご了承ください。

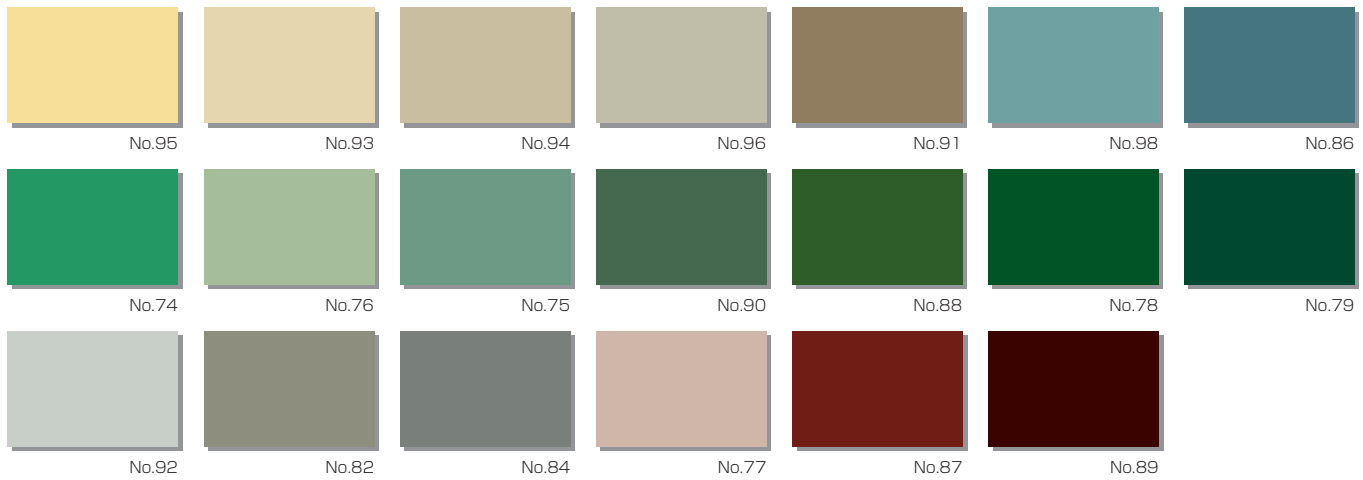
表中の数値などの意味

- 配合せず・・・塗料中に配合されていない
- 数値・・・配合量 (%)

※塗料中にはスチレンを配合しておりません。ただし、製品によっては使用している樹脂にスチレンが共重合化され、ポリマー化している場合があります。ポリマー化したスチレンは樹脂内に固定化されているため、一般条件下においてスチレンモノマーが揮発することは殆どありません。その他詳しくは、SDS をご参照ください。

標準色一覧

※見本は印刷のため実物と異なる場合があります。ご了承ください。発注の際は、必ず見本帳等で色目をご確認ください。



※SK スペシャルフロアーは別途標準色を設定しています。(P7参照)

水性厚膜型特殊合成樹脂系塗床材

SKスペシャルフローアー



強靱性、耐熱水性、耐薬品性に優れ、また重車両の走行に耐える、耐久性の高い水性厚膜型特殊合成樹脂系塗床材であり、水性硬質ウレタンに分類されます。



特 長

- ①耐熱性に優れることから、熱水を使用する食品工場や厨房等に最適です。
- ②優れた付着性、強靱性、耐摩耗性、耐衝撃性を示します。
- ③各種薬品や洗剤、各種油類、食品等に対する耐久性に優れていることから、化学工場、食品工場等に適しています。
- ④かびや細菌等の微生物汚染を防止し、衛生的な環境を維持します。
- ⑤水性^{※1}であるため溶剤臭がほとんどなく低臭であり、食品工場、厨房等でも安心してご使用いただけます。またシックハウスの原因物質として指摘されているホルムアルデヒドをほとんど含まず、厚生労働省がシックハウス、シックスクールの対策として、室内環境濃度基準を指定している13物質^{※2}を配合していない安全に配慮した設計です。

※1 硬化剤と硬化促進剤には一部溶剤を含んでいます。
 ※2 当カタログ製作時における指定物質です。

用 途

食品工場、厨房、物流倉庫、飲料工場、化学工場等の耐熱性、強靱性を必要とする床

標準施工仕様

メーカー施工のため、詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

標準色

※写真は印刷のため実物と異なる場合があります。ご了承ください。



SF-1 (グリーン)



SF-2 (ライトグリーン)



SF-3 (クリーム)



SF-5 (アカサビ)



SF-6 (グレー)



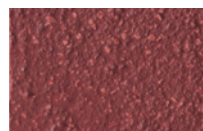
SN-10 (グリーン)



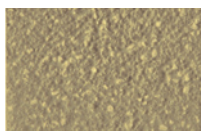
SN-20 (ライトグリーン)



SN-30 (クリーム)



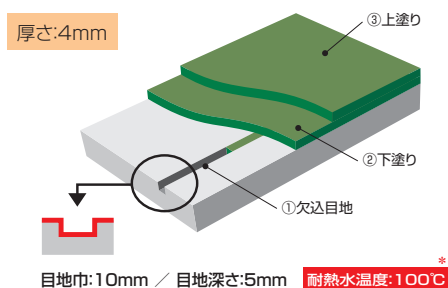
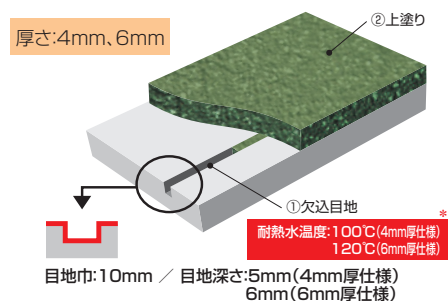
SN-50 (アカサビ)



SN-60 (グレー)

工程図

平滑タイプ SKスペシャルフローアーF-4M

防滑タイプ SKスペシャルフローアーNS-4M
NS-6M

* 洗浄等に使用する熱水への耐性を示すものです。

注1) 各部位(排水溝周り、立ち上がり部、コンクリート打継部、★SKスペシャルフローアー塗継部など)の施工については、別途施工要領書をご参照ください。

注2) 下地処理の欠込目地は、断面欠損となるため、事前の打ち合わせが必要になります。

注3) 樹脂の特性により、直射日光が当たる場所に施工すると、黄変する場合があります。

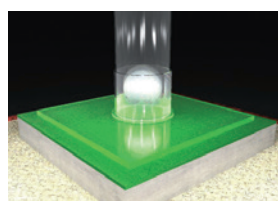
注4) 施工温度が25℃以下の場合は、★SKスペシャルフローアー硬化促進剤を添加して施工してください。詳細については、別途施工要領書をご参照ください。

性能試験成績表

試験項目		結 果		品 質
		SK スペシャル フロアー F-4M	SK スペシャル フロアー NS-6M	
付着強さ N/㎢	標準状態	2.5 (下地破壊)	2.5 (下地破壊)	建研式接着力試験機にて測定 <耐熱水性試験> 90℃熱水浸漬 1 時間→水冷却 10 分間→23℃水 50 分間を 1 サイクルとして 50 サイクル繰り返し。
	耐熱水性 試験後	2.4 (下地破壊)	2.4 (下地破壊)	
曲げ強さ	N/㎢	13.6	11.1	JIS R 5201 10 曲げ強さに準拠
圧縮強さ	N/㎢	40.8	37.5	JIS R 5201 10 圧縮強さに準拠
耐摩耗性	mg	70	74	テーバー式 CS-17、1kg 1000 回転
耐 衝 撃 性		異常なし	異常なし	重さ 1kg の鋼球を高さ 1m から 10 回落下
シャア硬度 D		82	79	JIS K 7215 に準拠
ピカット軟化点℃		209	220	JIS K 7206 に準拠 5kg 荷重
耐 沸 騰 水 性		異常なし	異常なし	沸騰水浸漬 24 時間
耐 蒸 気 性		異常なし	異常なし	120℃蒸気 2 時間→20℃水浸漬 1 時間→23℃乾燥 1 時間を 1 サイクルとして 10 サイクル繰り返し。
酸 素 指 数		33.0	41.5	JIS K 7201-2 (2007) に準拠
すべり 抵抗係数	Dry	0.75	0.89	日本塗工床工業会 (NNK-003) C.S.R 測定
	Wet	0.85	0.82	

その他の性能

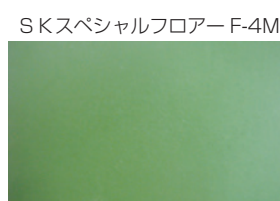
■耐衝撃性試験



重さ1kgの鋼球を1mの高さから落下。
表面性状を調べる

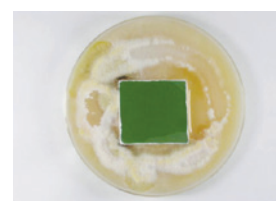


3回で表面の塗膜が破壊



100回、異常なし

■かび抵抗性試験 (JIS Z 2911)



培養 4週間異常なし

■耐蒸気性試験



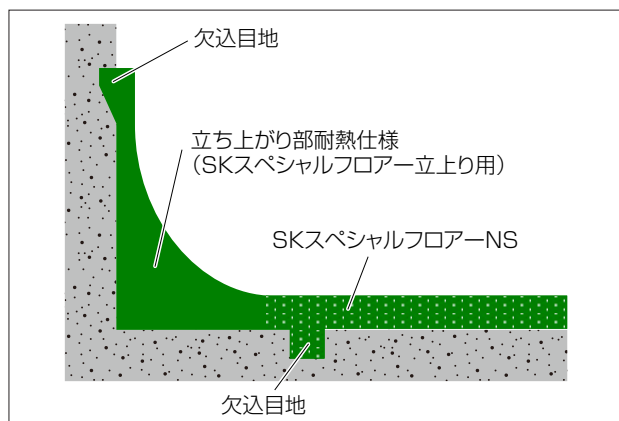
SK スペシャルフロアーF-4M
10サイクル異常なし



無溶剤エポキシ樹脂系塗床材
1サイクルで変色
3サイクルで剥れ発生

荷 姿

- ★SK スペシャルフロアーF-4M 主剤:3kg缶 硬化剤:3.3kg缶 粉体:14kg袋
- ★SK スペシャルフロアーNS-4M 主剤:2kg缶 硬化剤:2kg缶 粉体:16kg袋
- ★SK スペシャルフロアーNS-6M 主剤:2kg缶 硬化剤:2kg缶 粉体:18kg袋
- ★SK スペシャルフロアー立上り用 主剤:2kg缶 硬化剤:2kg缶 粉体:18kg袋

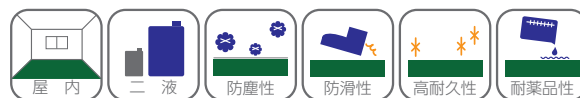


※★ SK スペシャルフロアー立上り用は、骨材粒度が小さいため、平場用と色目が異なります。



耐薬品高強度無溶剤形エポキシ樹脂系塗床材

アーキフロアーEH無溶剤 ／EH無溶剤ローラー用



耐久性、作業性に優れた無溶剤タイプのエポキシ樹脂系塗床材です。酸・アルカリに強いエポキシ樹脂を使用しているため、耐薬品性、耐摩耗性を発揮し、光沢のある美しい床面を形成します。姉妹品として、セルフレベリング性に優れたローラー施工専用のアーキフロアーEH無溶剤ローラー用があります。



特 長

- ①厚塗りができ、強固で強靱な塗面を形成します。
- ②耐酸性・耐アルカリ性・耐水性・耐薬品性に優れています。
- ③下地への密着性に優れています。
- ④掃除がしやすく、衛生的な環境を維持します。
- ⑤作業性に優れています。

用 途

一般工場、機械工場、食品工場、化学工場、実験室、病室、化粧室、倉庫、駐車場（内部）などの床面

標準施工仕様

アーキフロアーEH 無溶剤

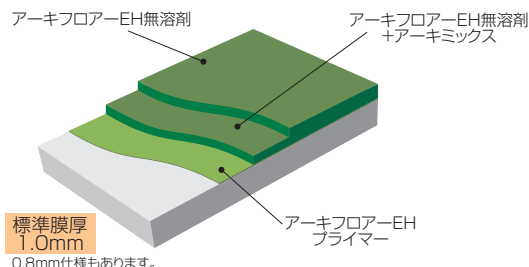
平滑工法（薄膜流しのべ仕上げ） 1.0mm厚

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレイトランス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・含水率測定(高周波静電容量式水分計:ケット水分計HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値5%以下であること。 ・pH測定(pH試験紙)にて10以下であること。							—
プライマー塗	アーキフロアーEHプライマー 主 剤	100	0.15 ~ 0.20	1~2	4 以上	4 以上	—	ローラー 刷 毛
	アーキフロアーEHプライマー 硬化剤	25						
下 塗 り	アーキフロアーEH無溶剤 主 剤	100	0.3	1	—	10 以上	—	金ごて
	アーキフロアーEH無溶剤 硬化剤	20						
	アーキミックス	3~6						
上 塗 り	アーキフロアーEH無溶剤 主 剤	100	1.0	1	—	—	24 以上	金ごて
	アーキフロアーEH無溶剤 硬化剤	20						

本仕様は1.0mm厚仕様です。0.8mm厚仕様もあります。その場合の上塗りの塗付量は0.8kg/㎡となります。

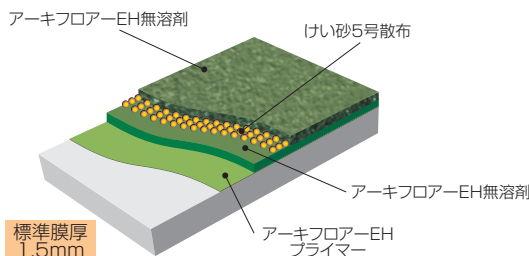
工程図



NS工法（薄膜流しのべ防滑仕上げ） 1.5mm厚

(23℃)

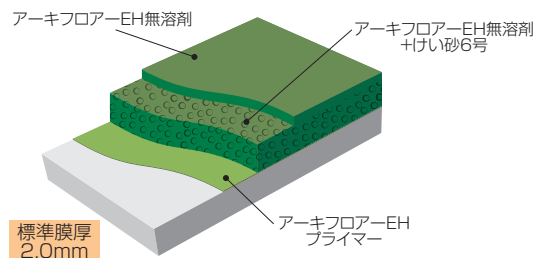
工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレイトランス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・含水率測定(高周波静電容量式水分計:ケット水分計HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値5%以下であること。 ・pH測定(pH試験紙)にて10以下であること。							—
プライマー塗	アーキフロアーEHプライマー 主 剤	100	0.15 ~ 0.20	1~2	4 以上	4 以上	—	ローラー 刷 毛
	アーキフロアーEHプライマー 硬化剤	25						
下 塗 り	アーキフロアーEH無溶剤 主 剤	100	0.5	1	—	15分 以内	—	金ごて
	アーキフロアーEH無溶剤 硬化剤	20						
	けい砂5号	100						
けい砂5号の除去	余剰のけい砂をホウキで除去する。				—	直後	—	—
上 塗 り	アーキフロアーEH無溶剤 主 剤	100	0.5	1	—	—	24 以上	EHローラー
	アーキフロアーEH無溶剤 硬化剤	20						



ペースト工法(厚膜流しのべ仕上げ) 2.0mm厚

(23℃)

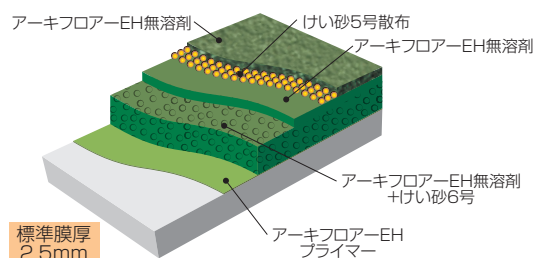
工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗 付 量 (kg/m ²)	塗 回 数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレイトランス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・含水率測定(高周波静電容量式水分計:ケット水分計HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値 5%以下であること。 ・pH測定(pH試験紙)にて 10 以下であること。							—
プライマー塗	アーキフロアー-EHプライマー 主 剤	100	0.15 0.20	1~2	4 以上	4 以上	—	ローラー 刷 毛
	アーキフロアー-EHプライマー 硬化剤	25						
ペーストリ塗	アーキフロアー-EH無溶剤 主 剤	100	2.5	1	—	10 以上	—	金こて
	アーキフロアー-EH無溶剤 硬化剤	20						
	けい砂 6号	80~ 100						
上 塗 り	アーキフロアー-EH無溶剤 主 剤	100	0.8	1	—	—	24 以上	金こて
	アーキフロアー-EH無溶剤 硬化剤	20						



ペーストNS工法(厚膜流しのべ防滑仕上げ) 2.5mm厚

(23℃)

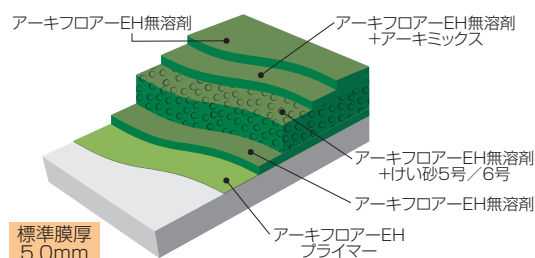
工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗 付 量 (kg/m ²)	塗 回 数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレイトランス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・含水率測定(高周波静電容量式水分計:ケット水分計HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値 5%以下であること。 ・pH測定(pH試験紙)にて 10 以下であること。							—
プライマー塗	アーキフロアー-EHプライマー 主 剤	100	0.15 0.20	1~2	4 以上	4 以上	—	ローラー 刷 毛
	アーキフロアー-EHプライマー 硬化剤	25						
ペーストリ塗	アーキフロアー-EH無溶剤 主 剤	100	2.5	1	—	10 以上	—	金こて
	アーキフロアー-EH無溶剤 硬化剤	20						
	けい砂 6号	80~ 100						
中 塗 り	アーキフロアー-EH無溶剤 主 剤	100	0.5	1	—	15分 以内	—	金こて
	アーキフロアー-EH無溶剤 硬化剤	20						
けい砂散布	けい砂 5号	100	1.0	1	—	10 以上	—	手散布 又は吹付
余剰けい砂の除去	余剰のけい砂をホウキで除去する。				—	直後	—	—
上 塗 り	アーキフロアー-EH無溶剤 主 剤	100	0.5	1	—	—	24 以上	EHローラー
	アーキフロアー-EH無溶剤 硬化剤	20						



樹脂モルタル工法(樹脂モルタル仕上げ) 5.0mm厚

(23℃)

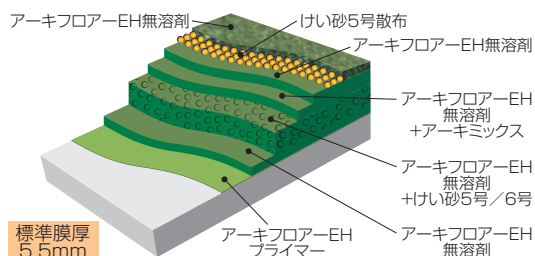
工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗 付 量 (kg/m ²)	塗 回 数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレイトランス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・含水率測定(高周波静電容量式水分計:ケット水分計HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値 5%以下であること。 ・pH測定(pH試験紙)にて 10 以下であること。							—
プライマー塗	アーキフロアー-EHプライマー 主 剤	100	0.15 0.20	1~2	4 以上	4 以上	—	ローラー 刷 毛
	アーキフロアー-EHプライマー 硬化剤	25						
下 塗 り	アーキフロアー-EH無溶剤 主 剤	100	0.3	1	—	直後	—	金こて
	アーキフロアー-EH無溶剤 硬化剤	20						
樹脂モルタル塗	アーキフロアー-EH無溶剤 主 剤	100	8.0	1	—	10 以上	—	金こて
	アーキフロアー-EH無溶剤 硬化剤	20						
	けい砂 5号/6号	480/120						
目 止 め	アーキフロアー-EH無溶剤 主 剤	100	0.5	1	—	10 以上	—	金こて
	アーキフロアー-EH無溶剤 硬化剤	20						
	アーキミックス	3~6						
上 塗 り	アーキフロアー-EH無溶剤 主 剤	100	0.8	1	—	—	24 以上	金こて
	アーキフロアー-EH無溶剤 硬化剤	20						



樹脂モルタルNS工法(樹脂モルタル防滑仕上げ) 5.5mm厚

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗 付 量 (kg/m ²)	塗 回 数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレイトランス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・含水率測定(高周波静電容量式水分計:ケット水分計HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値 5%以下であること。 ・pH測定(pH試験紙)にて 10 以下であること。							—
プライマー塗	アーキフロアー-EHプライマー 主 剤	100	0.15 0.20	1~2	4 以上	4 以上	—	ローラー 刷 毛
	アーキフロアー-EHプライマー 硬化剤	25						
下 塗 り	アーキフロアー-EH無溶剤 主 剤	100	0.3	1	—	直後	—	金こて
	アーキフロアー-EH無溶剤 硬化剤	20						
樹脂モルタル塗	アーキフロアー-EH無溶剤 主 剤	100	8.0	1	—	10 以上	—	金こて
	アーキフロアー-EH無溶剤 硬化剤	20						
	けい砂 5号/6号	480/120						
目 止 め	アーキフロアー-EH無溶剤 主 剤	100	0.5	1	—	10 以上	—	金こて
	アーキフロアー-EH無溶剤 硬化剤	20						
	アーキミックス	3~6						
中 塗 り	アーキフロアー-EH無溶剤 主 剤	100	0.5	1	—	15分 以内	—	金こて
	アーキフロアー-EH無溶剤 硬化剤	20						
けい砂散布	けい砂 5号	100	1.0	1	—	10 以上	—	手散布 又は吹付
余剰けい砂の除去	余剰のけい砂をホウキで除去する。				—	直後	—	—
上 塗 り	アーキフロアー-EH無溶剤 主 剤	100	0.5	1	—	—	24 以上	EHローラー
	アーキフロアー-EH無溶剤 硬化剤	20						



1. 吸い込みが多い下地の場合など、必要に応じて★アーキフロアー-EHプライマーを2回塗りしてください。
2. 攪拌は泡がかまないよう注意して行ってください。低速型攪拌機の使用を推奨します。
3. ★アーキフロアー-EH無溶剤は、希釈すると硬化不良を生じる可能性がありますので、絶対に希釈は行わないでください。
4. ★アーキフロアー-EH無溶剤主剤は樹脂の特性上、低温(0℃以下)になると凝固する場合がありますので、材料は5℃以上で保管してください。また、凝固が発生した場合は加温等で溶解させ、十分に攪拌した上でご使用ください。



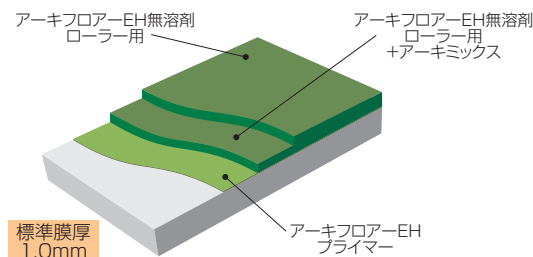
(より糸加工が施された7inchウールローラー
/ 毛丈 5mm)

アーキフロアー EH 無溶剤ローラー用

平滑工法（薄膜流しのべ仕上げ） 1.0mm厚

(23℃)

工 程		材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg /㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)				備 考
						工程内	工程間	最終養生		
素地調整		・下地表面のレタランス、油脂、汚れ、ごみなどを念入に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・含水率測定 (高周波静電容量式水分計: ケット水分計 HI・500・HI・520) にてコンクリートレンジ表示値 5% 以下であること。 ・pH測定 (pH試験紙) にて 10 以下であること。								
プライマー塗	アーキフロアーEHプライマー 主 剤	100	0.15 0.20	1~2	4 以上	4 以上	—	ローラー 刷 毛		
	アーキフロアーEHプライマー 硬化剤	25								
下 塗 り	アーキフロアーEH無溶剤ローラー用 主 剤	100	0.3	1	—	10 以上	—	EHローラー		
	アーキフロアーEH無溶剤ローラー用 硬化剤	20								
上 塗 り	アーキミックス	3~6	1.0	1	—	—	24 以上	EHローラー		
	アーキフロアーEH無溶剤ローラー用 主 剤	100								
	アーキフロアーEH無溶剤ローラー用 硬化剤	20								



NS工法（薄膜流しのべ防滑仕上げ） 1.5mm厚

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg / m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・ 下地表面のレイトランス、油脂、汚れ、ごみなどを念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・ 含水率測定 (高周波静電容量式水分計 : ケット水分計 HI - 500 ・ HI - 520) にてコンクリートレンジ表示値 5%以下であること。 ・ pH測定 (pH試験紙) にて 10 以下であること。							—
プライマー塗	アーキフロアーEHプライマー 主 剤	100	0.15	1~2	4 以上	4 以上	—	ローラー 刷 毛
	アーキフロアーEHプライマー 硬化剤	25	0.20					
下 塗 り	アーキフロアーEH無溶剤ローラー用 主 剤	100	0.5	1	—	15分 以内	—	EHローラー
	アーキフロアーEH無溶剤ローラー用 硬化剤	20						
けい砂散	けい砂 5号	100	1.0	1	—	10 以上	—	手散布 又は吹付
余剰けい砂の除去	余剰のけい砂をホウキで除去する。				—	直後	—	—
上 塗 り	アーキフロアーEH無溶剤ローラー用 主 剤	100	0.5	1	—	—	24 以上	EHローラー
	アーキフロアーEH無溶剤ローラー用 硬化剤	20						

1. 吸い込みが多い下地の場合など、必要に応じて★アーキフロアーEHプライマーを2回塗りしてください。
2. アーキミックスの添加量は、下地の状況に応じて、適宜設定してください。
3. ★アーキフロアーEH無溶剤ローラー用は、希釈すると硬化不良を生じる可能性がありますので、絶対に希釈は行わないでください。
4. ★アーキフロアーEH無溶剤ローラー用主剤は樹脂の特性上、低温(0℃以下)になると凝固する場合がありますので、材料は5℃以上で保管してください。また、凝固が発生した場合は加温等で溶解させ、十分に攪拌した上でご使用ください。



(より糸加工が施された 7inch ウールローラー / 毛丈 5mm)

性能試験成績表

JIS K 5970 による試験結果

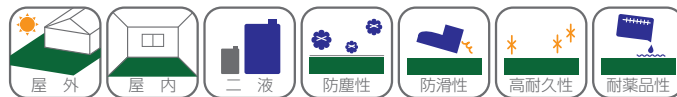
項 目	結 果	品 質
容 器 の 中 で の 状 態	合 格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様である。
塗 装 作 業 性	合 格	塗装作業に支障がない。
塗 膜 の 外 観	合 格	塗膜の外観が正常である。
耐 摩 耗 性	5.3mg	規定回転数当たりの摩耗減量 30mg以下。
耐 衝 撃 性	合 格	衝撃による変形で割れ、はがれが生じない。
耐 水 性	合 格	6 時間水に浸したとき異常がない。
耐 アルカリ性 (水酸化カルシウム飽和溶液)	合 格	6 時間アルカリに浸したとき異常がない。

荷 姿

- ★アーキフロアーEHプライマー 主剤:12kg石油缶、4kg缶 硬化剤:3kg缶、1kg缶(標準塗坪:75~100m²/15kgセット)
- ★アーキフロアーEH無溶剤 主剤:15kg石油缶、5kg缶 硬化剤:3kg缶、1kg缶
(標準塗坪:平滑工法13.8m²/18kgセット、NS工法18m²/18kgセット、ペースト工法8m²/18kgセット、
ペーストNS工法7.4m²/18kgセット、樹脂モルタル工法6.1m²/18kgセット、樹脂モルタルNS工法5.7m²/18kgセット)
- ★アーキフロアーEH無溶剤ローラー用 主剤:15kg石油缶、5kg缶 硬化剤:3kg缶、1kg缶(標準塗坪:平滑工法13.8m²/18kgセット、NS工法18m²/18kgセット)
- けい砂5号 25kg袋
けい砂6号 25kg袋
アーキミックス 3kg袋



特殊セラミック変性樹脂系塗床材 SKセラミフロアー



特殊セラミック変性樹脂をベースにした優れた耐久性の床材です。熱や光に対しても強い抵抗性を示すため、長期に亘って床面を保護します。



特 長

- ①従来のアクリル系やアクリルウレタン系塗床材に比べ、耐久性に優れています。
- ②耐酸性・耐アルカリ性・耐薬品性に優れています。
- ③耐摩耗性に優れ、防塵効果があります。

用 途

一般工場や機械工場、食品工場、化学工場・倉庫、マンションの廊下・階段、ベランダなど（防塵用）

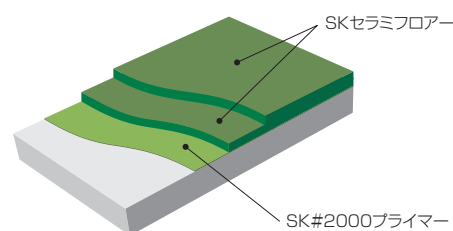
標準施工仕様

平滑工法（コーティング仕上げ）

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレイトンス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・含水率測定(高周波静電容量式水分計:ケット水分計HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値5%以下であること。 ・pH測定(pH試験紙)にて10以下であること。							—
下 塗 り	SK#2000 プライマー 主 剤	100	0.14	1	—	16 以上 7日 以内	—	ローラー 刷 毛
	SK#2000 プライマー 硬化剤	10	0.17					
	SK#2000 プライマーシンナー	10~40	—					
上 塗 り	SKセラミフロアー 主 剤	100	0.28	2	1以上 7日 以内	—	24 以上	ローラー 刷 毛
	SKセラミフロアー 硬化剤	7.14	—					
	SKセラミフロアーシンナー	0~10	—					

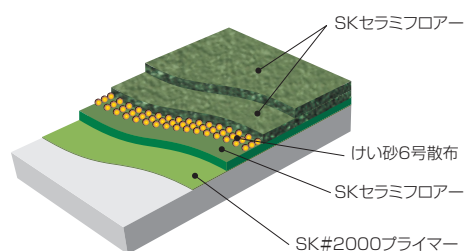
工程図



NS工法（防滑仕上げ）

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレイトンス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・含水率測定(高周波静電容量式水分計:ケット水分計HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値5%以下であること。 ・pH測定(pH試験紙)にて10以下であること。							—
下 塗 り	SK#2000 プライマー 主 剤	100	0.14	1	—	16 以上 7日 以内	—	ローラー 刷 毛
	SK#2000 プライマー 硬化剤	10	0.17					
	SK#2000 プライマーシンナー	10~40	—					
中 塗 り	SKセラミフロアー 主 剤	100	0.16	1	—	10分 以内	—	ローラー 刷 毛
	SKセラミフロアー 硬化剤	7.14	—					
	SKセラミフロアーシンナー	0~10	—					
けい砂散	けい砂6号	100	0.25	1	—	8 以上	—	手散布 又は吹付
上 塗 り	SKセラミフロアー 主 剤	100	0.22	2	1以上 7日 以内	—	24 以上	ローラー 刷 毛
	SKセラミフロアー 硬化剤	7.14	—					
	SKセラミフロアーシンナー	0~10	—					



性能試験成績表

JIS K 5970 による試験結果

項 目	結 果	品 質
容器 中 の 状 態	合 格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様である。
塗 装 作 業 性	合 格	塗装作業に支障がない。
塗 膜 の 外 観	合 格	塗膜の外観が正常である。
耐 摩 耗 性	7.7mg	規定回転数当たりの摩耗減量 30mg以下。
耐 衝 撃 性	合 格	衝撃による変形で割れ、はがれが生じない。
耐 水 性	合 格	6 時間水に浸したとき異常がない。
耐 アルカリ性 (水酸化カルシウム飽和溶液)	合 格	6 時間アルカリに浸したとき異常がない。

荷 姿

- ★SK#2000プライマー 主剤:15kg石油缶、5kg缶 硬化剤:1.5kg缶、0.5kg缶(標準塗坪:97~117㎡/16.5kgセット)
- ★SKセラミフロアー 主剤:14kg石油缶、3.5kg缶 硬化剤:1kg缶、0.25kg缶(標準塗坪:平滑工法53㎡/15kgセット、NS工法39㎡/15kgセット)
- ★SK#2000プライマーシンナー 16ℓ石油缶
- ★SKセラミフロアーシンナー 16ℓ石油缶
- けい砂6号 25kg袋

水性速硬型エポキシ樹脂系塗床材

水性速硬型ミラクフロアー



水性速硬型ミラクフロアーは水性反応硬化型エポキシ樹脂をベースとした塗床材です。水性でありながら乾燥硬化性に優れています。さらにエポキシ結合を塗膜構造内に持つことにより、溶剤形塗料に匹敵する耐摩耗性・耐薬品性を示し、長期に亘り美しい外観を維持します。また、各種下地への密着性に優れ、高い光沢を示します。



特 長

- ①従来の水性エポキシ樹脂塗床材に比べ乾燥硬化性に優れ、歩行可能時間を大幅に短縮しました。更に低温下においても、優れた硬化性を示します。
- ②水性であるため、引火性の心配が少なく、また、水性エポキシ塗床材と比べ低臭です。また、シックハウスの原因物質として指定されているホルムアルデヒドをほとんど含まず、厚生労働省がシックハウス、シックスクール対策として、室内環境濃度基準を指定している13物質^{*1}を配合していない安全に配慮した設計です。
- ③エポキシ結合を構造内に持つことにより、溶剤形塗料と同等の優れた耐摩耗性・耐薬品性を発揮します。

※ 1 当カタログ製作時における指定物質です。

用 途

一般工場、機械工場、食品工場、倉庫、教室、実験室、病室、廊下・階段、事務室、化粧室などの床面（防塵用）

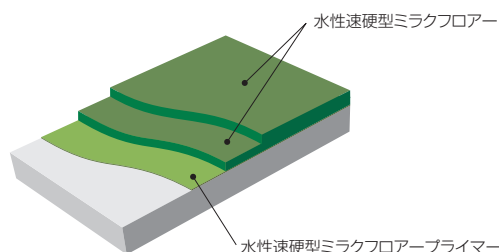
標準施工仕様

平滑工法（コーティング仕上げ）

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg / m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・ 下地表面のレイトランス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・ 含水率測定 (高周波静電容量式水分計: ケット水分計 HI-500・HI-520) にてコンクリートレンジ表示値 5%以下であること。 ・ pH測定 (pH試験紙) にて 10 以下であること。							—
下 塗 り	水性速硬型ミラクフロアープライマー 主 剤	100	0.15	1~2	4 以上	4 以上	—	ローラー 刷 毛
	水性速硬型ミラクフロアープライマー 硬化剤	50	0.25					
上 塗 り	水性速硬型ミラクフロアー 主 剤	100	0.30	2	4~24	—	24 以上	ローラー 刷 毛
	水性速硬型ミラクフロアー 硬化剤	25						
	清 水	0~10	—					

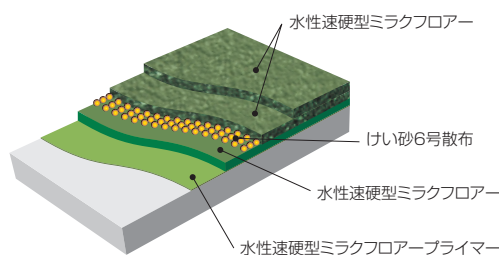
工程図



NS工法（防滑仕上げ）

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg / m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・ 下地表面のレイトランス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・ 含水率測定 (高周波静電容量式水分計 : ケット水分計 HI - 500 ・ HI - 520) にてコンクリートレンジ表示値 5% 以下であること。 ・ pH測定 (pH試験紙) にて 10 以下であること。							—
下 塗 り	水性速硬型ミラクフロアープライマー 主 剤	100	0.15	1~2	4 以上	4 以上	—	ローラー 刷 毛
	水性速硬型ミラクフロアープライマー 硬化剤	50	0.25					
中 塗 り	水性速硬型ミラクフロアー 主 剤	100	0.15	1	—	10分 以内	—	ローラー 刷 毛
	水性速硬型ミラクフロアー 硬化剤	25	—					
けい砂 散	清 水	0~10	—	1	—	8 以上	—	手散布 又は吹付
	けい砂 6 号	100	0.25					
上 塗 り	水性速硬型ミラクフロアー 主 剤	100	0.30	2	4~24	—	24 以上	ローラー 刷 毛
	水性速硬型ミラクフロアー 硬化剤	25	—					
	清 水	0~10	—					



1. 吸い込みが多い下地の場合、必要に応じて水性速硬型ミラクフロアープライマーを2回塗りしてください。

性能試験成績表

JIS K 5970 による試験結果

項 目	結 果	品 質
容 器 の 中 で の 状 態	合 格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様である。
塗 装 作 業 性	合 格	塗装作業に支障がない。
塗 膜 の 外 観	合 格	塗膜の外観が正常である。
耐 摩 耗 性	5.0mg	規定回転数当たりの摩耗減量 30mg以下。
耐 衝 撃 性	合 格	衝撃による変形で割れ、はがれが生じない。
耐 水 性	合 格	6 時間水に浸したとき異常がない。
耐 アルカリ性 (水酸化カルシウム飽和溶液)	合 格	6 時間アルカリに浸したとき異常がない。

荷 姿

水性速硬型ミラクフロアープライマー 主剤:8kg石油缶 硬化剤:4kg缶(標準塗坪:60~80m²/セット)
 水性速硬型ミラクフロアー 主剤:12kg石油缶 硬化剤:3kg缶(標準塗坪:平滑工法50m²/セット、NS工法33m²/セット)
 けい砂6号 25kg袋

弱溶剤形エポキシ樹脂系塗床材

アーキフロアーEHマイルド



アーキフロアー EH マイルドは、弱溶剤形のエポキシ樹脂をベースとした塗床材です。独自の反応硬化技術による強靱な塗膜は、耐摩耗性、耐薬品性等に優れた性能を示し、長期に亘り美しい外観と防塵効果を維持します。また、従来の強溶剤形塗床材に比べ、弱溶剤形のため、塗り替えでは旧塗膜を侵すことなく幅広く施工できます。



特 長

- ①架橋密度の高い強靱な塗膜は、優れた耐摩耗性、防塵性を発揮します。
- ②アルカリ、無機酸等の耐薬品性、また耐油性にも優れています。
- ③コンクリートに対する浸透性がよく、良好な付着性を示します。また、弱溶剤であるため、塗り替えでは旧塗膜の種類を問わず、幅広い付着適性を発揮します。
- ④強溶剤形の塗床材に比べ臭気が少なく、ローラー塗装で簡単に施工できます。

用 途

一般工場、機械工場、食品工場、倉庫、実験室、廊下、内階段などの床面（防塵用）

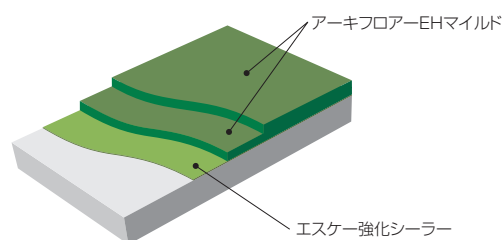
標準施工仕様

平滑工法（コーティング仕上げ）

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレイタンス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・含水率測定(高周波静電容量式水分計:ケット水分計HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値5%以下であること。 ・pH測定(pH試験紙)にて10以下であること。							—
下 塗 り	エスケー強化シーラー 主 剤	100	0.15	1~2	4	6	—	ローラー 刷 毛
	エスケー強化シーラー 硬化剤	25	0.20					
上 塗 り	アーキフロアーEHマイルド 主 剤	100	0.35	2	8	—	24	ローラー 刷 毛
	アーキフロアーEHマイルド 硬化剤	25						
	塗料用シンナーA	0~10	—					

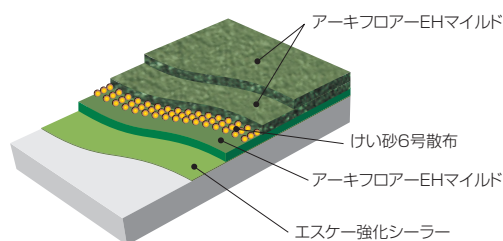
工程図



NS工法（防滑仕上げ）

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレイタンス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・含水率測定(高周波静電容量式水分計:ケット水分計HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値5%以下であること。 ・pH測定(pH試験紙)にて10以下であること。							—
下 塗 り	エスケー強化シーラー 主 剤	100	0.15	1~2	4	6	—	ローラー 刷 毛
	エスケー強化シーラー 硬化剤	25	0.20					
中 塗 り	アーキフロアーEHマイルド 主 剤	100	0.20	1	—	15分以内	—	ローラー 刷 毛
	アーキフロアーEHマイルド 硬化剤	25						
	塗料用シンナーA	0~10	—					
けい砂散	けい砂6号	100	0.3	1	—	8	—	手散布 又は吹付
上 塗 り	アーキフロアーEHマイルド 主 剤	100	0.35	2	8	—	24	ローラー 刷 毛
	アーキフロアーEHマイルド 硬化剤	25						
	塗料用シンナーA	0~10	—					



1. 吸い込みが多い下地の場合など、必要に応じて★エスケー強化シーラーを2回塗りしてください。

性能試験成績表

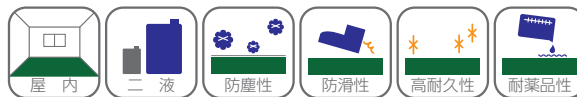
JIS K 5970 による試験結果

項 目	結 果	品 質
容 器 の 中 で の 状 態	合 格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様である。
塗 装 作 業 性	合 格	塗装作業に支障がない。
塗 膜 の 外 観	合 格	塗膜の外観が正常である。
耐 摩 耗 性	4.0mg	規定回転数当たりの摩耗減量 30mg以下。
耐 衝 撃 性	合 格	衝撃による変形で割れ、はがれが生じない。
耐 水 性	合 格	6時間水に浸したとき異常がない。
耐 アルカリ性 (水酸化カルシウム飽和溶液)	合 格	6時間アルカリに浸したとき異常がない。

荷 姿

- ★エスケー強化シーラー 主剤:12kg石油缶 硬化剤:3kg缶(標準塗坪:75~100m²/15kgセット)
- ★アーキフロアーEHマイルド 主剤:12kg石油缶 硬化剤:3kg缶(標準塗坪:平滑工法42m²/15kgセット、NS工法27m²/15kgセット)
- ★塗料用シンナーA 16ℓ石油缶
- けい砂6号 25kg袋

耐薬品高強度エポキシ樹脂系塗床材 アーキフロアーEH



下地との密着性及び硬化性に優れた特殊エポキシ樹脂を応用して開発された、強靱で高い耐久性を持つハードタイプのエポキシ樹脂系塗床材です。



特 長

- ①硬度の高い塗膜が得られ、優れた耐摩耗性と機械的強度を示します。
- ②耐薬品性、耐油性に優れており、過酷な条件下でも変わらない性能を示します。
- ③光沢があり、耐汚染性に優れ、カラフルな色調を長期間保持します。
- ④レベリング性に優れます。

用 途

一般工場、機械工場、食品工場、倉庫、教室、実験室、病室、廊下・階段、事務室、化粧室などの床面（防塵用）

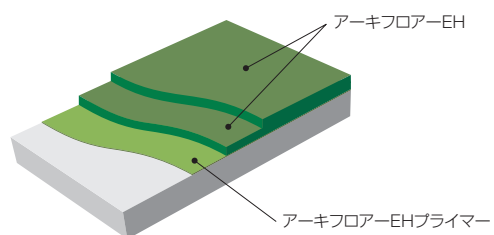
標準施工仕様

平滑工法（コーティング仕上げ）

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg /㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)		備 考
					工程内	工程間(最終養生)	
素地調整	・下地表面のレタンス、油脂、汚れ、ごみなどを念入に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・含水率測定(高周波静電容量式水分計:ケット水分計HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値 5%以下であること。 ・pH測定 (pH試験紙)にて 10 以下であること。						
下 塗 り	アーキフロアーEHプライマー 主 剤	100	0.15	1~2	4 以上	4 以上	—
	アーキフロアーEHプライマー 硬化剤	25	0.20				
上 塗 り	アーキフロアーEH 主 剤	100	0.35	2	8 以上	—	24 以上
	アーキフロアーEH 硬化剤	25					
	EH シンナー	5~10	—				

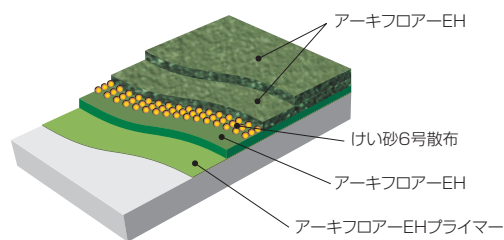
工程図



NS工法（防滑仕上げ）

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg /㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレイトランス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・含水率測定 (高周波静電容量式水分計：ケット水分計HI-500・HI-520) にてコンクリートレンジ表示値 5%以下であること。 ・pH測定 (pH試験紙) にて 10 以下であること。							—
下 塗 り	アーキフロアー EH プライマー 主 剤	100	0.15	1~2	4 以上	4 以上	—	ローラー 刷 毛
	アーキフロアー EH プライマー 硬化剤	25	0.20					
中 塗 り	アーキフロアー EH 主 剤	100	0.20	1	—	15分 以内	—	ローラー 刷 毛
	アーキフロアー EH 硬化剤	25	—					
け い 砂 布	EH シンナー	5~10	—	1	—	8 以上	—	手散布 又は吹付
	けい砂 6号	100	0.3					
上 塗 り	アーキフロアー EH 主 剤	100	0.40	2	8 以上	—	24 以上	ローラー 刷 毛
	アーキフロアー EH 硬化剤	25	—					
	EH シンナー	5~10	—					



1. 吸い込みが多い下地の場合など、必要に応じて★アーキフロアーEHプライマーを2回塗りしてください。

性能試験成績表

JIS K 5970 による試験結果

項 目	結 果	品 質
容 器 中 の 状 態	合 格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様である。
塗 装 作 業 性	合 格	塗装作業に支障がない。
塗 膜 の 外 観	合 格	塗膜の外観が正常である。
耐 摩 耗 性	3.8mg	規定回転数当たりの摩耗減量 30mg以下。
耐 衝 撃 性	合 格	衝撃による変形で割れ、はがれが生じない。
耐 水 性	合 格	6 時間水に浸したとき異常がない。
耐 アルカリ性 (水酸化カルシウム飽和溶液)	合 格	6 時間アルカリに浸したとき異常がない。

荷 姿

- ★アーキフロアーEHプライマー 主剤:12kg石油缶、4kg缶 硬化剤:3kg缶、1kg缶(標準塗坪:75~100m²/15kgセット)
- ★アーキフロアーEH 主剤:12kg石油缶、4kg缶 硬化剤:3kg缶、1kg缶(標準塗坪:平滑工法42m²/15kgセット、NS工法25m²/15kgセット)
- ★EHシンナー 16ℓ石油缶 25kg袋
- けい砂6号 25kg袋

水性ウレタン樹脂系塗床材 水性アーキフロアーU



耐候性に優れた水性反応硬化形ウレタン樹脂をベースとした環境にやさしい塗床材です。独自の架橋構造による強靱な塗膜は、優れた耐摩耗性、耐薬品性と共に、高い耐候性を示し、紫外線による劣化、変退色を抑えるため、屋内の床面に限らず屋外にも使用できます。



特 長

- ①従来のアクリル系、エポキシ系塗床材と比べ、耐変退色性（黄変）に優れています。
- ②独自の反応硬化技術による架橋塗膜は、溶剤形塗料に匹敵する耐摩耗性、耐薬品性を発揮します。
- ③各種旧塗膜（アクリル、ウレタン、エポキシ系）と良好な付着性を示します。
- ④乾燥硬化性に優れ、工期の短縮につながります。
- ⑤水性塗装システムのため、使いやすく、安全性の高い塗装環境を提供します。

用 途

一般工場、倉庫、廊下・階段、遊歩道（密粒アスファルト以外は施工不可）など（防塵用）

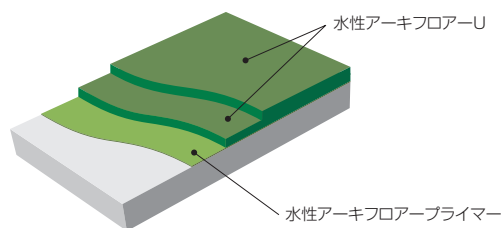
標準施工仕様

平滑工法（コーティング仕上げ）

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレタンス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。（ポリッシャー型研磨機を使用） ・含水率測定（高周波静電容量式水分計：ケット水分計HI-500・HI-520）にてコンクリートレンジ表示値 5%以下であること。 ・pH測定（pH試験紙）にて 10 以下であること。							—
下 塗 り	水性アーキフロアープライマー	既調合	0.15 ~ 0.20	1~2	4 以上	4 以上	—	ローラー 刷 毛
上 塗 り	水性アーキフロアーU 主 剤	100	0.30	2	4~48	—	24 以上	ローラー 刷 毛
	水性アーキフロアーU 硬化剤	10						
	清 水	0~10	—					

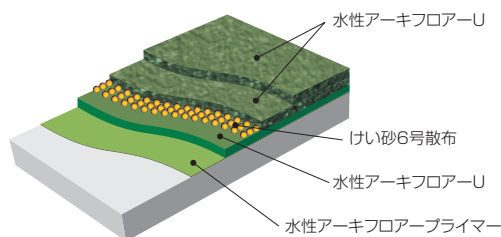
工程図



NS工法（防滑仕上げ）

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレタンス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。（ポリッシャー型研磨機を使用） ・含水率測定（高周波静電容量式水分計：ケット水分計HI-500・HI-520）にてコンクリートレンジ表示値 5%以下であること。 ・pH測定（pH試験紙）にて 10 以下であること。							—
下 塗 り	水性アーキフロアープライマー	既調合	0.15 ~ 0.20	1~2	4 以上	4 以上	—	ローラー 刷 毛
中 塗 り	水性アーキフロアーU 主 剤	100	0.18	1	—	10分 以内	—	ローラー 刷 毛
	水性アーキフロアーU 硬化剤	10						
け い 砂 散	清 水	0~10	—	1	—	8 以上	—	手散布 又は吹付
	けい砂6号	100	0.25					
上 塗 り	水性アーキフロアーU 主 剤	100	0.30	2	4~48	—	24 以上	ローラー 刷 毛
	水性アーキフロアーU 硬化剤	10						
	清 水	0~10	—					



1. 吸い込みが多い下地の場合は、必要に応じて2回塗りしてください。また水性アーキフロアープライマー塗装後、テーピング試験で付着性の確認を行うことを推奨します。
2. アスファルト面に施工する際には、水性アーキフロアープライマーを使用せず、☆水性アーキフロアーUを直接塗装してください。その際には、必ず試し塗りを行ってください。なお、下の吸い込みが著しい場合には、水性速硬化型ミラクフロアープライマーを塗装後、☆水性アーキフロアーUの塗装を行ってください。アスファルト面では、☆水性アーキフロアーUの塗付量（2回塗り時）は「1.0 ~ 1.4kg/m²」、清水での希釈率は刷毛、ローラー塗り時で「10 ~ 15%」となります。
3. アスファルト面では、アスファルトのにじみにより変色する場合があります。特に淡彩色系の色目を塗装される際には、試験塗りを実施してください。特に舗装して間もないアスファルト面には、油分が表面に染み出てなくなるまで塗装は避けてください。（目安：舗装後3週間以上（標準状態））
4. 旧塗膜の改修には水性アーキフロアープライマーを使用せず、☆水性アーキフロアーUを直接塗装、あるいは、水性速硬化型ミラクフロアープライマーを使用してください。

性能試験成績表

JIS K 5970 による試験結果

項 目	結 果	品 質
容 器 の 中 で の 状 態	合 格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様である。
塗 装 作 業 性	合 格	塗装作業に支障がない。
塗 膜 の 外 観	合 格	塗膜の外観が正常である。
耐 摩 耗 性	4.0mg	規定回転数当たりの摩耗減量 30mg以下。
耐 衝 撃 性	合 格	衝撃による変形で割れ、はがれが生じない。
耐 水 性	合 格	6時間水に浸したとき異常がない。
耐 アルカリ性 (水酸化カルシウム飽和溶液)	合 格	6時間アルカリに浸したとき異常がない。

荷 姿

水性アーキフロアープライマー 15kg石油缶（標準塗坪：75~100㎡/缶）
 ☆水性アーキフロアーU 主剤：15kg石油缶、4kg缶 硬化剤：1.5kg缶、0.4kg缶（標準塗坪：平滑工法55㎡/16.5kgセット、NS工法34㎡/16.5kgセット）
 けい砂6号 25kg袋

防塵用ウレタン樹脂系塗床材 アーキフロアーUT



アクリルウレタン樹脂で構成される二液溶剤形の塗床材です。



特 長

- ①無黄変型のアクリルウレタン樹脂で構成されているため、色の安定性、耐候性に優れています。
- ②耐摩耗性に富み、塗膜として耐久性に優れています。

用 途

一般工場、駐車場、廊下・階段、ベランダ、実験室など（防塵用）

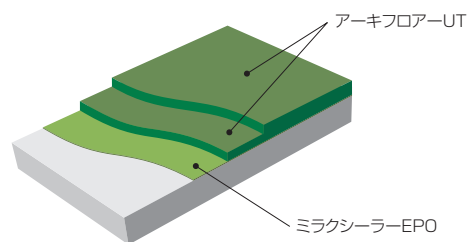
標準施工仕様

平滑工法（コーティング仕上げ）

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg /㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)		備 考
					工程内	工程間/最終養生	
素地調整	・下地表面のレタンス、油脂、汚れ、ごみなどを念入に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・含水率測定 (高周波静電容量式水分計：ケット水分計HI-500・HI-520) にてコンクリートレンジ表示値 5%以下であること。 ・pH測定 (pH試験紙) にて 10 以下であること						—
下 塗 り	ミラクシーラー EPO 主 剤	100	0.20	1	—	4~48	ローラー 刷 毛
	ミラクシーラー EPO 硬化剤	50	0.30				
上 塗 り	アーキフロアー UT 主 剤	100	0.35	2	4~16	—	24 以上
	アーキフロアー UT 硬化剤	25					
	アーキUシンナー	20~40	—				

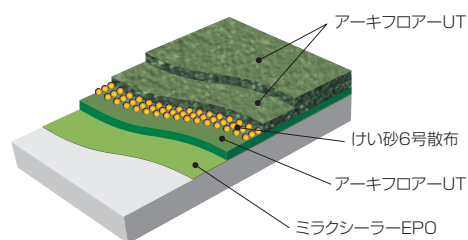
工程図



NS工法（防滑仕上げ）

(23℃)

		(25℃)						
工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg /㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレイトンス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・含水率測定 (高周波静電容量式水分計：ケット水分計HI-500・HI-520) にてコンクリートレンジ表示値 5%以下であること。 ・pH測定 (pH試験紙) にて 10 以下であること。							—
下 塗 り	ミラクシーラー EPO 主 剤	100	0.20	1	—	4~48	—	ローラー 刷 毛
	ミラクシーラー EPO 硬化剤	50	0.30					
中 塗 り	アーキフロアー UT 主 剤	100	0.18	1	10分 以内	—	—	ローラー 刷 毛
	アーキフロアー UT 硬化剤	25						
	アーキUシンナー	20~40	—					
け い 砂 布	けい砂 6号	100	0.25	1	—	8 以上	—	手散布 又は吹付
	アーキフロアー UT 主 剤	100	0.35					
上 塗 り	アーキフロアー UT 硬化剤	25		0.35	2	4~16	—	24 以上
	アーキUシンナー	20~40	—					



性能試験成績表

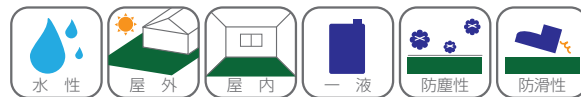
JIS K 5970 による試験結果

項 目	結 果	品 質
容 器 の 中 の 状 態	合 格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様である。
塗 装 作 業 性	合 格	塗装作業に支障がない。
塗 膜 の 外 観	合 格	塗膜の外観が正常である。
耐 摩 耗 性	4.0mg	規定回転数当たりの摩耗減量 30mg以下。
耐 衝 撃 性	合 格	衝撃による変形で割れ、はがれが生じない。
耐 水 性	合 格	6 時間水に浸したとき異常がない。
耐 アルカリ性 (水酸化カルシウム飽和溶液)	合 格	6 時間アルカリに浸したとき異常がない。

荷 姿

- ★ミラクシーラーEPO 主剤:10kg石油缶 硬化剤:5kg缶(標準塗坪:50~75㎡/セット)
- ★アーキフロアーUT 主剤:12kg石油缶、4kg缶 硬化剤:3kg缶、1kg缶(標準塗坪:平滑工法42㎡/15kgセット、NS工法28㎡/15kgセット)
- ★アーキUシンナー 16ℓ石油缶
- けい砂6号 25kg袋

水性反応硬化形アクリル樹脂系塗床材 アーキフロアーAWG



反応硬化形の水性特殊アクリル樹脂系塗床材で、従来の溶剤形アクリル樹脂系塗床材に匹敵する物性を発揮し、高い光沢性、優れた耐久性を長期に亘り維持します。また、水性タイプのため、環境に優しく、塗り替えに最適な塗床材です。



特 長

- ①従来の水性アクリル樹脂系塗床材と比較して速硬性に優れ、翌日歩行が可能(23℃)です。
- ②各種旧塗膜に対して優れた密着性を示します。
- ③架橋塗膜構造を持つため、汚れが内部に浸透しにくく、汚染除去性に優れています。

用 途

一般工場、倉庫、廊下・階段、遊歩道(駐車場など荷重のかかる部位へは不向き)(防塵用)

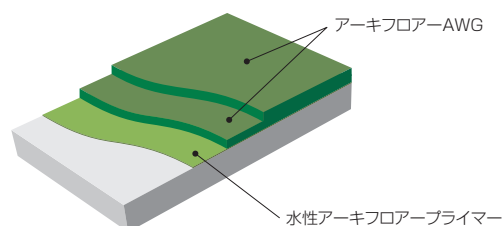
標準施工仕様

平滑工法(コーティング仕上げ)

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg /㎡)	塗回数	間隔時間(hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレイトナス、油脂、汚れ、ごみなどを念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・含水率測定 (高周波静電容量式水分計: ケット水分計HI-500・HI-520) にてコンクリートレンジ表示値 5%以下であること。 ・pH測定 (pH試験紙) にて 10 以下であること。							—
下 塗 り	水性アーキフロアプライマー	既調合	0.15 ～ 0.20	1～2	4 以上	4 以上	—	ローラー 刷 毛
上 塗 り	アーキフロアー AWG	100	0.30	2	3 以上	—	24 以上	ローラー 刷 毛
	清 水	0～10	—					

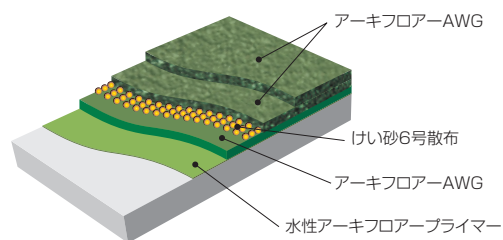
工程図



NS工法(防滑仕上げ)

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg / m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレイトナス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・含水率測定 (高周波静電容量式水分計: ケット水分計 HI-500・HI-520) にてコンクリートレンジ表示値 5%以下であること。 ・pH測定 (pH試験紙) にて 10 以下であること。							—
下 塗 り	水性アーキフロアプライマー	既調合	0.15 0.20	1~2	4 以上	4 以上	—	ローラー 刷 毛
中 塗 り	アーキフロアー AWG	100	0.15	1	—	10分 以内	—	ローラー 刷 毛
けい砂布散	清 水	0~10	—	1	—	8 以上	—	手散布 又は吹付
	けい砂 6号	100	0.25					
上 塗 り	アーキフロアー AWG	100	0.30	2	3 以上	—	24 以上	ローラー 刷 毛
	清 水	0~10	—					



1. 吸い込みが多い下地の場合は、必要に応じて2回塗りしてください。また水性アーキフロアプライマー塗装後、テープング試験で付着性の確認を行うことを推奨します。
2. アスファルト面に施工する際には、水性アーキフロアプライマーを使用せず、アーキフロアーAWGを直接塗装してください。その際には、必ず試し塗りを行ってください。なお、下地の吸い込みが著しい場合には、水性速硬型ミラクフロアプライマーを塗装後、アーキフロアーAWGの塗装を行ってください。アスファルト面ではアーキフロアーAWGの塗付量(2回塗り時)は「1.0~1.4kg/m²」、清水での希釈率は刷毛・ローラー塗り時で「10~15%」となります。
3. アスファルト面では、アスファルトのじみにより変色する場合があります。特に白色、淡彩色系の色相を塗装される際には、試験塗りを実施し、仕上がりを確認した上で本塗装を行ってください。舗装して間もないアスファルト面には、油分が表面に染み出てこないようになるまで(舗装後3週間程度が目安です)塗装は避けてください。
4. 旧塗膜の改修には水性アーキフロアプライマーを使用せず、アーキフロアーAWGを直接塗装、あるいは、水性速硬型ミラクフロアプライマーを使用してください。

性能試験成績表

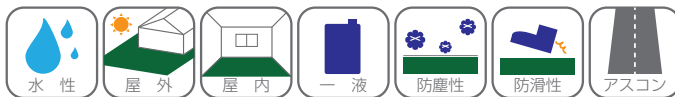
JIS K 5970 による試験結果

項 目	結 果	品 質
容 器 の 中 で の 状 態	合 格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様である。
塗 装 作 業 性	合 格	塗装作業に支障がない。
塗 膜 の 外 観	合 格	塗膜の外観が正常である。
耐 摩 耗 性	8.0mg	規定回転数当たりの摩耗減量 30mg以下。
耐 衝 撃 性	合 格	衝撃による変形で割れ、はがれが生じない。
耐 水 性	合 格	6時間水に浸したとき異常がない。
耐 アルカリ性 (水酸化カルシウム飽和溶液)	合 格	6時間アルカリに浸したとき異常がない。

荷 姿

水性アーキフロアプライマー 15kg石油缶(標準塗坪:75~100m²/缶)
 アーキフロアーAWG 15kg石油缶、4kg缶(標準塗坪:平滑工法50m²/15kg缶、NS工法33m²/15kg缶)
 けい砂6号 25kg袋

水性アクリル樹脂系塗床材（艶消し） アーキフロアーAW



特殊アクリル樹脂の応用で開発されたエマルジョン系の塗床材です。水性タイプのため、環境に優しく、手軽に施工できます。防塵性に優れた平滑工法と、NS工法があり、カラフルな床面を保持できます。



特 長

- ①水性ですので、取り扱いが容易です。
- ②調色が自在で、カラフルに仕上がります。
- ③防塵性、リコート性に優れています。
- ④シームレスに美しく仕上がり、清掃が容易です。

用 途

遊歩道などの簡易塗装（駐車場など荷重のかかる部位へは不向き）ベランダ、一般工場（防塵用）

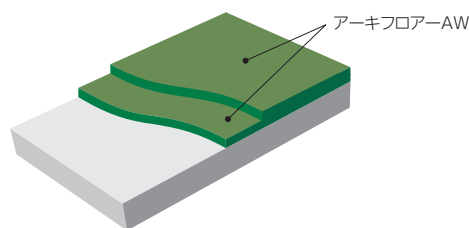
標準施工仕様

平滑工法（コーティング仕上げ）

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg / m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレイトランス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。（ポリッシャー型研磨機を使用） ・含水率測定（高周波静電容量式水分計：ケット水分計HI-500・HI-520）にてコンクリートレンジ表示値 5%以下であること。 ・pH測定（pH試験紙）にて 10 以下であること。							—
上 塗 り	アーキフロアー AW	100	0.30	2	3 以上	—	24 以上	ローラー 刷 毛
	清 水	0~20	—					

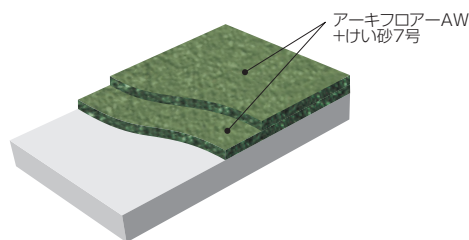
工程図



NS工法（防滑仕上げ）

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg / m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレイタンス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。(ポリッシャー型研磨機を使用) ・含水率測定(高周波静電容量式水分計: ケット水分計 HI-500・HI-520)にてコンクリートレンジ表示値 5%以下であること。 ・pH測定 (pH試験紙)にて 10 以下であること。							—
下 塗 り	アーキフロアー AW	100	0.40	1	—	3 以上	—	こ て レーキ
	けい砂 7号	20						
	清 水	5~10	—					
上 塗 り	アーキフロアー AW	100	0.60	1	—	—	24 以上	こ て レーキ
	けい砂 7号	120						
	清 水	5~10	—					



1. 下地がモルタル金こて押さえ面（緻密）の場合及び吸い込みが著しい場合は、★アーキフロアーEHプライマーを予め塗付してください。
2. アスファルト面に施工する際は、下地の吸い込みが著しい場合には、水性速硬型ミラクフロアープライマーを塗装後、アーキフロアーAWの塗装を行ってください。アスファルト面ではアーキフロアーAWの塗付量（2回塗り時）は「1.0～1.4kg/m²」、清水での希釈率は刷毛・ローラー塗り時で「10～20%」となります。

性能試験成績表

JIS K 5970 による試験結果

項 目	結 果	品 質
容 器 の 中 で の 状 態	合 格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様である。
塗 装 作 業 性	合 格	塗装作業に支障がない。
塗 膜 の 外 観	合 格	塗膜の外観が正常である。
耐 摩 耗 性	9.5mg	規定回転数当たりの摩耗減量 30mg以下。
耐 衝 撃 性	合 格	衝撃による変形で割れ、はがれが生じない。
耐 水 性	合 格	6 時間水に浸したとき異常がない。
耐 アルカリ性 (水酸化カルシウム飽和溶液)	合 格	6 時間アルカリに浸したとき異常がない。

荷 姿

アーキフロアーAW 20kg石油缶、4kg缶（標準塗坪：平滑工法66㎡／20kg缶、NS工法33㎡／20kg缶）
けい砂7号 25kg袋

溶剤形アクリル樹脂系塗床材

アーキフロアーAS



特殊アクリル樹脂の応用で開発されたもので、乾燥が速く、手軽に刷毛またはローラーで施工でき、経済的で美しい床面が得られる溶剤形アクリル樹脂系塗床材です。



特 長

- ①光沢性、耐久性に優れています。
- ②調色が自在で、カラフルに仕上がります。
- ③防塵性、リコート性に優れています。
- ④乾燥が速く、工期の短縮が可能です。

用 途

廊下・階段、一般工場、倉庫（台車、手押し車用）など
（フォークリフトなど、荷重のかかる通路へは不向き）（防塵用）

標準施工仕様

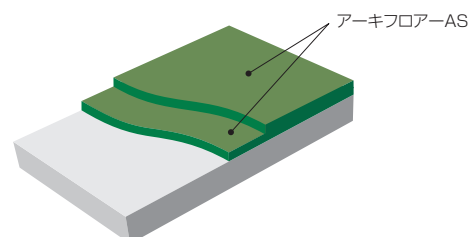
平滑工法（コーティング仕上げ）

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg /㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地表面のレイトランス、油脂、汚れ、ごみなどを入念に除去する。（ポリッシャー型研磨機を使用） ・含水率測定（高周波静電容量式水分計：ケット水分計HI-500・HI-520）にてコンクリートレンジ表示値 5%以下であること。 ・pH測定（pH試験紙）にて 10 以下であること。							—
下 塗 り	アーキフロアー AS	100	0.20	1	—	2 以上	—	ローラー 刷 毛
	エナメル用シンナー	30~60	—					
上 塗 り	アーキフロアー AS	100	0.15	1	—	—	24 以上	ローラー 刷 毛
	エナメル用シンナー	30~60	—					

- 下地がモルタル金こて押さえ面（緻密）の場合及び吸い込みが著しい場合は、★アーキフロアーEHプライマーを予め塗付してください。
- 一度に厚塗りすると、溶剤分が塗膜中に残存場合がありますのでご注意ください。

工程図



性能試験成績表

JIS K 5970 による試験結果

項 目	結 果	品 質
容 器 の 中 で の 状 態	合 格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様である。
塗 装 作 業 性	合 格	塗装作業に支障がない。
塗 膜 の 外 観	合 格	塗膜の外観が正常である。
耐 摩 耗 性	10.0mg	規定回転数当たりの摩耗減量 30mg以下。
耐 衝 撃 性	合 格	衝撃による変形で割れ、はがれが生じない。
耐 水 性	合 格	6 時間水に浸したとき異常がない。
耐 アルカリ性 (水酸化カルシウム飽和溶液)	合 格	6 時間アルカリに浸したとき異常がない。

荷 姿

- ★アーキフロアーAS 15kg石油缶、4kg缶
(標準塗坪:平滑工法42m²/15kg缶)
- ★エナメル用シンナー 16ℓ石油缶



浸透硬化型コンクリート表面強化材

SKバリヤーコート



特殊けい酸塩を主成分とする浸透硬化型コンクリート表面強化材です。内部に浸透し、床表面を堅く緻密に改質することで粉塵の発生を抑制します。



特 長

- ①化学反応で改質された表面は、摩耗、劣化による粉塵の発生を抑制します。
- ②経年劣化したコンクリートに対しても、簡単な施工で効果が得られ、リフォーム時の床改修にも最適です。
- ③水性タイプで臭いもほとんどなく、取り扱いも簡単です。

用 途

コンクリート床の工場・倉庫・物流施設・駐車場、セメント系硬質床材（カラコン、フェロコン）の改修、OAフロア（二重床下地）の防塵

ただし、薬品工場（酸、アルカリなどの薬品が流れるところ）、食品工場・食堂の厨房（酢、塩、砂糖などが流れるところ）、魚介類の解凍場（海水が流れるところ）、防水を要求される場所などには適用できません。

標準施工仕様

散布型

【新築仕様】

(23℃)

新築工法								(250)
工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg /㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
下地 処 理	・下地はよく乾燥させ、含水率8%以下、pH10以下としてください。新設コンクリートの養生時間は、 打設後夏期で3週間以上、冬期で4週間以上を目安としてください。 ・付着物やレイトンス層などがある場合、ワイヤーブラシ、ポリッシャーなどで除去した後、入念に 清掃してください。（ホウキを用いた掃除などは不可）							
上 塗 り	SKバリヤーコート	既調合	0.06 0.10	1	—	0.5 1	—	ジョーロ 低圧噴霧器
水 拭 き	余剰分をモップ等で拭き取り均一に塗り広げた後、塗付面を十分に水拭き してください。				—	—	24 以上	モップ

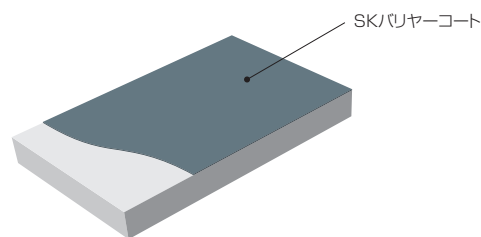
【改修仕様】

(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg /㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考	
					工程内	工程間	最終養生		
下地処理	・ワイヤーブラシ、ポリッシャーなどで汚れ、レイトンス、油脂を除去し、入念に清掃してください。 (ホウキを用いた掃除などは不可)								—
上 塗 り	SKバリヤーコート	既調合	0.10 ～ 0.25	1	—	0.5 ～ 1	—	ジョーロ 低圧噴霧器	
水 拭 き	余剰分をモップ等で拭き取り均一に塗り広げた後、塗付面を十分に水拭きしてください。				—	—	24 以上	モップ	

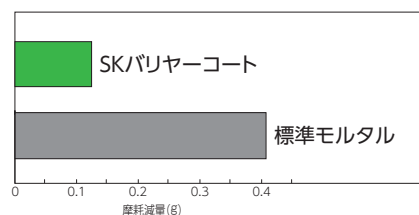
- 下地の状態によって、所要量が変わりますので吸い込みが大きい下地の場合は、追加で散布してください。また、凹部で材料が溜まった場合、モップ等で均一に塗り広げてください。溜まったまま硬化させると白化やひび割れが生じる場合があります。（カラコンやフェロコン、機械コテ押さえなど吸い込みの少ない下地の所要量は、0.15～0.20kg/m²を目安としてください。）
- SKバリヤーコートはクリヤー仕上げのため、下地のコンクリートの色違い、吸い込みむら、及びひび割れや欠損部跡を隠すことができません。特に改修工事の場合は、それらの影響をより受けやすくなりますので、予めご了承ください。

工程図



性能・他

■耐摩耗性試験



試験条件：CS — 17、荷重 9.8N、500 回転



SKバリヤーコート散布



モップによる水拭き



仕上がり

荷 姿

SKバリヤーコート 18kg石油缶
 (標準塗坪:180～300m²/缶(新築仕様の場合))
 (標準塗坪:72～180m²/缶(改修仕様の場合))

水性ハイソリッド型コンクリート表面強化材

アーキタイトエコ



コンクリートやモルタルなどの床表面に塗付することで素地内部の細部深くまで浸透し、硬く緻密な表面に改質します。
また、ハイソリッド型であるため、一度塗りで耐摩耗性、耐久性の高い床面を提供します。



特 長

- ①特殊珪酸 (Si - O) 化合物がコンクリートに深く浸透し、コンクリートやモルタル成分と反応して、緻密で強固な表面に改質します。
- ②コンクリートとの化学反応で改質された表面は、摩耗、劣化による粉塵の発生を抑制します。
- ③緻密な表面層は、汚れ成分の付着、浸透、固着を抑制し、優れた耐汚染性を発揮します。
- ④緻密な表面層は、コンクリートやモルタルの中性化防止に大きく貢献します。
- ⑤水性タイプで臭いもほとんどなく、ホルムアルデヒドなどの有害物質をほとんど含まない安全に配慮した設計です。

用 途

工場、倉庫、物流センター、駐車場などのコンクリート床面

ただし、薬品工場（酸、アルカリなどの薬品が流れるところ）、食品工場・食堂の厨房（酢、塩、砂糖などが流れるところ）、魚類の解凍場（海水が流れるところ）、防水を要求されるところなどには適用できません。

標準施工仕様

散布型

【新築仕様】

(23℃)

作業仕様書							(200)
工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg /㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)		備 考
					工程間	最終養生	
下地 処 理	・下地はよく乾燥させてください。 新設コンクリート打設後の養生時間を取ってください。 ・付着物やレタンス層などがある場合、ワイヤーブラシ、ポリッシャーなどで除去した後、入念に清掃してください。						—
上 塗 り	アーキタイトエコ	既調合	0.06 0.10	1	0.5~1	—	ジョーロ 低圧噴霧器
水 拭 き	余剰分をモップ等で拭き取り均一に塗り広げた後、塗付面を十分に水拭きしてください。				—	24 以上	モップ

【改修仕様】

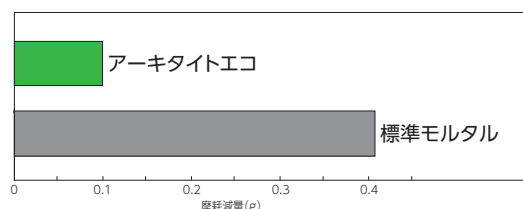
(23℃)

工 程	材 料 名	調 合 (重量比)	塗付量 (kg / m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		備 考
					工程間	最終養生	
下地処理	・ワイヤーブラシ、ポリッシャーなどで汚れ、レタンス、油脂を除去し、掃除機などで入念に清掃してください。						—
上 塗 り	アーキタイトエコ	既調合	0.10 0.25	1	0.5~1	—	ジョーロ 低圧噴霧器
水 拭 き	余剰分をモップ等で拭き取り均一に塗り広げた後、塗付面を十分に水拭きしてください。				—	24 以上	モップ

1. 下地の状態によって、所要量が変わりますので吸い込みが大きい下地の場合は、追加で散布してください。また、凹部で材料が溜まった場合、モップ等で均一に塗り広げてください。溜まったまま硬化させると白化やひび割れが生じる場合があります。（カラコンやフェロコン、機械コテ押さえなど吸い込みの少ない下地の所要量は、0.15 ~ 0.20kg/m²を目安としてください。）
2. アーキタイトエコはクリヤー仕上げのため、下地のコンクリートの色違い、吸い込みむら、及びひび割れや欠損部跡を隠すことができません。特に改修工事の場合は、それらの影響をより受けやすくなりますので、予めご了承ください。

性 能

■耐摩耗性試験

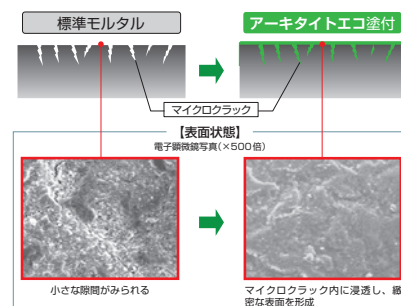
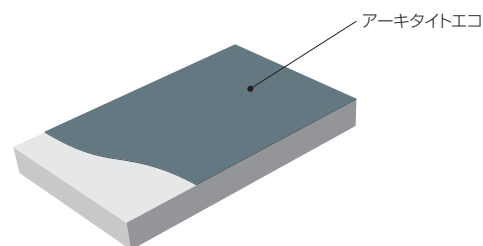


試験条件：CS — 17、荷重 9.8N、500 回転

荷 姿

アーキタイトエコ 18kg石油缶
(標準塗坪: 180~300m²/缶(新築仕様の場合))
(標準塗坪: 72~180m²/缶(改修仕様の場合))

工程図



■中性化試験

試験方法：10%CO₂環境下 28 日後の中性化深さ

	標準モルタル	アーキタイトエコ
1.8mm	1.8mm	0.1mm以下

施工上の注意点

〔共通〕

- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、（湿度85%以上）での施工は原則的に避けてください。やむを得ず施工を行う場合には、必ず採暖等により雰囲気温度・被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- ①含水率測定（高周波静電容量式水分計：ケット水分計 HI-500・HI-520）により、コンクリートレンジ表示値で5%以下、② pH 試験紙による測定で、pH10 以下、であることを必ず確認してください。
- 下地コンクリートは打設後 4 週間以上、モルタルは 2 週間（冬季 3 週間）以上の養生をとり、かつ十分に乾燥させてください。
- 水勾配は下地モルタルでとってください。
- 軽量コンクリートは塗床下地として適していませんので、できるだけ塗装は避けてください。
- 塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- 油面コンクリートは下地処理の方法が異なります。
- 風化したコンクリート、雨に打たれたり凍結により強度のないコンクリートについては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- 下地にレイタンスや脆弱部があると付着不良の原因となります。電気サンダーやワイヤーブラシなどで予め除去してください。
- 下地のクラック、不陸等は仕上がり不足の原因となりますので、予め下地調整を行ってください。
- 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。
- 十分な塗膜性能を確保するため、所定の塗回数、塗付量、膜厚を確保してください。
- 塗付量、所要量は、被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
- コンクリート、モルタル下地の含水率は、塗膜性能（付着性、膨れなど）に影響を与えるため、高周波静電容量式水分計（ケット水分計 HI-520）を使用し、コンクリートレンジの表示値 5%以下に管理してください。
- ★アーキフロアーEH無溶剤、水性速硬型ミラクフロアー、★SKセラミフロアーは施工後、24 時間で歩行は可能ですが、十分な耐久性、特に耐薬品性を発揮させるには 1 週間（23℃）の最終養生が必要です。
- 薄膜型塗床材（特に水性系かつ塗装直後）は、ラインテープを取り除く際に剥離することがありますので、ご注意ください。
- 各標準施工仕様に記載の使用量及び間隔時間を守り、施工してください。
- 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。また、気温 5℃以下、湿度 85%RH 以上の時は、塗膜の白化、艶引け、硬化不良、付着不良の原因となることがありますので、施工を避けてください。
- 内部の塗装で、換気が十分出ない場合や風通しの悪い場合、塗膜中の蒸気が滞留し、塗膜の乾燥が遅くなったり、硬化不良の原因となるおそれがあります。必ず十分な換気を行い、塗膜が十分に乾燥、硬化できるようにしてください。
- 食品工場に使用する場合、臭いが製品に移らないよう、十分な対策を講じてください。
- 乾燥過程で水（降雨）、結露など水分の影響を受けると白化することがあります。
- 施工部位を確認し、養生が適切に行われているかを確認してください。
- 材料の保管時は、直射日光の当たらない風通しの良い場所で保管してください。
- 凍結させないように 3℃以上の室内に保管してください。
- 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

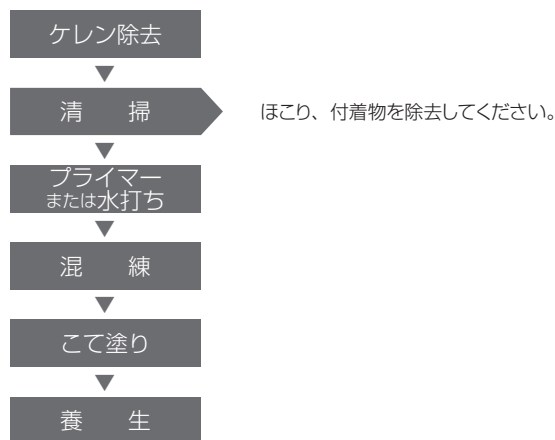
〔二液の製品が対象〕

- 材料は、開缶後十分に攪拌してから、必ず計量器を利用し、製品缶に記載の比率を厳守して正確に混合してください。異なった比率で混合すると、硬化不良、塗膜異状の原因となります。
- 材料の混合は十分にいき、可使時間以内に使い切るようにしてください。可使時間を経過したものを使用しますと、艶引け、硬化不良、付着不良などの原因となります。

〔溶剤・無溶剤の製品が対象〕

- 塗装中は換気を良くし、火気の取扱いには注意してください。
- 周辺での火気、スパーク、高温物には注意してください。
- 静電気対策のため、使用する装置などは接地してください。

脆弱下地・不陸面

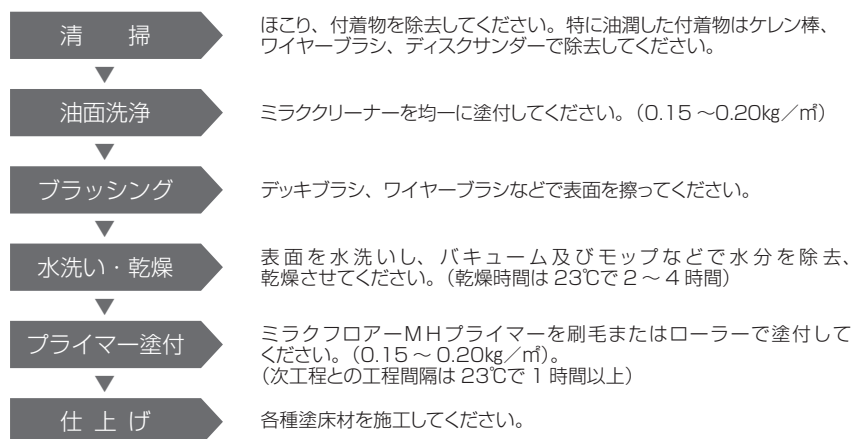


脆弱下地面へは直接塗床施工が出来ないため、ケレン機により脆弱表層部を完全に除去し不陸修正機にて段差・不陸修正を行ってください。

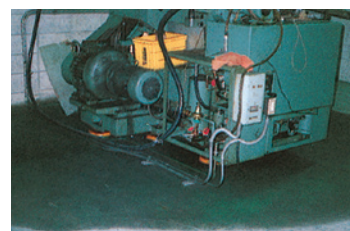


- ※ 1. 比較的面积が広い場合には、★SKウェットフィラーが経済的です。
- ※ 2. ★SKウェットフィラーの可使時間は20分(23℃)、乾燥時間は8時間以上です。
- ※ 3. 詳しい施工要領については別途下地補修材の資料をご参照ください。

油 潤 面

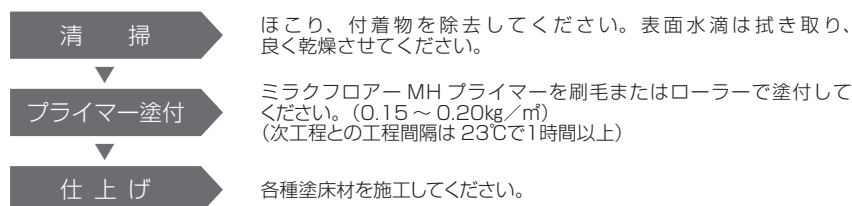


下地コンクリートまたはモルタルが油潤している状態では、一般に塗装工事は不可能です。しかし特殊油面クリーナー（ミラククリーナー）を使用すれば、浸み込んでいる油類まで抽出、洗浄でき、塗床材の施工が可能になります。油潤層が厚い場合は、ケレン機により完全に除去する必要があります。



- ※ 1. ミラククリーナーで洗浄後、油分が残っている場合には再洗浄を行ってください。
- ※ 2. プライマーの浸透が悪い場合には乾燥後、再塗付してください。
- ※ 3. 塗床材が★SKセラミフロアーの場合は、★ミラクフロアーMHプライマーを使用した後も★SK # 2000 プライマーの工程が必要です。

湿 潤 面

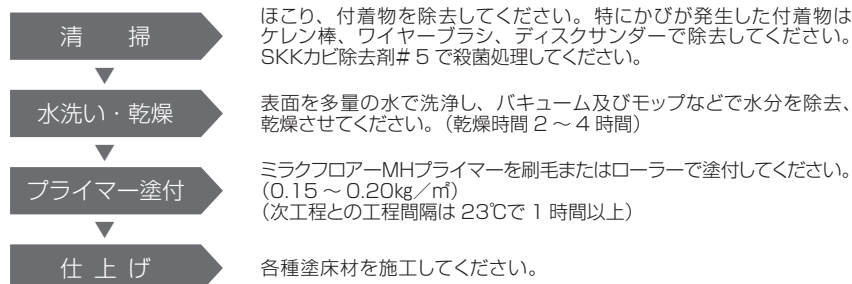


下地コンクリートまたはモルタルはできるだけ乾燥養生された状態で塗床工事を実施します。しかし、工期の関係などで多少湿潤状態で施工する必要がある場合はこの工法を適用してください。

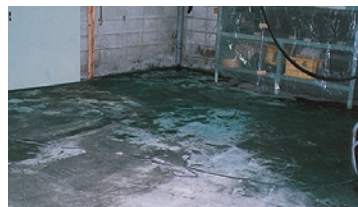


- ※ 1. プライマーの浸透が悪い場合には乾燥後、再塗付してください。
- ※ 2. 下地水圧が高く、水があふれ出る場合は施工出来ません。
- ※ 3. 塗床材が★SKセラミフロアーの場合は、★ミラクフロアーMHプライマーを使用した後も★SK # 2000 プライマーの工程が必要です。

微生物汚染面

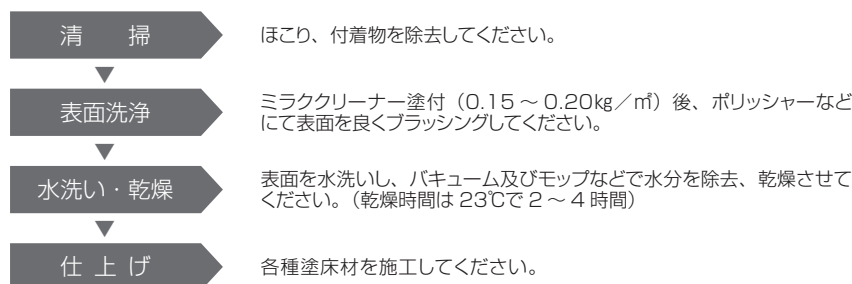


かびなどの生物汚染は水洗いでは完全に除去できません。専用の殺菌剤(SKKカビ除去剤#5)で微生物を殺菌した後、塗床材を施工してください。



- ※ 1. SKKカビ除去剤# 5 洗浄の場合は、カビ除去剤が残らないよう十分に洗浄してください。
- ※ 2. プライマーの浸透が悪い場合には乾燥後、再塗付してください。
- ※ 3. SKKカビ除去剤# 5 ご使用の際は、P 29 からの「危険情報と安全対策」をよくお読みください。
- ※ 4. 塗床材が★SK セラミフロアーの場合は、★ミラクフロアー MH プライマーを使用した後も★SK # 2000 プライマーの工程が必要です。

高密度コンクリート面

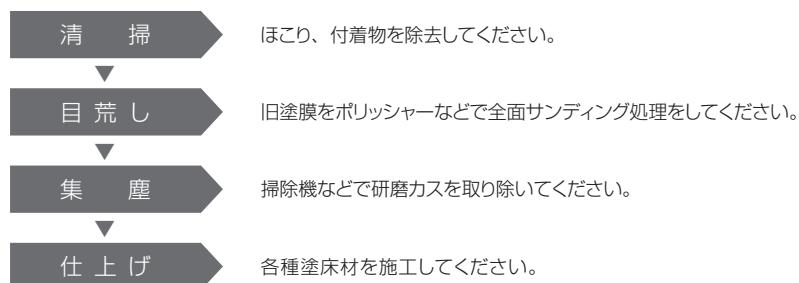


高密度コンクリート(カラーコンクリートなど)は、油潤面と同様プライマーが浸透・密着しないため、一般には改修工事が出来ない場合が多いのですが、特殊油面クリーナー(ミラククリーナー)と機械洗浄機との併用で床改修工事が可能となります。また状況により表層除去も必要になります。



- ※ 1. ミラククリーナーで洗浄後、油分が残っている場合には再洗浄を行ってください。
- ※ 2. プライマーの浸透が悪い場合には乾燥後、再塗付してください。
- ※ 3. 下塗りに★ミラクフロアーMHプライマーをご使用の場合は各種塗床材のプライマー工程は不要です。
- ※ 4. 塗床材が★SK セラミフロアーの場合は、★ミラクフロアー MH プライマーを使用した後も★SK # 2000 プライマーの工程が必要です。

旧塗膜面



塗膜の種類により、適切な処理が必要です。各種旧塗膜がある状態での改修においては、旧塗膜との適合性が重要となります。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

- ※ 1. 下地に脆弱部があると付着不良の原因となりますので、ワイヤーブラシ等の手工具で予め除去してください。
- ※ 2. 下地のクラック、不陸等は仕上がり不良の原因となりますので、予め下地調整を行ってください。

水性油面クリーナー

ミラククリーナー

■特長

コンクリート・モルタルの表層2～3mm程度まで含浸・付着した鉱物油・植物油・動物油などを短時間で抽出・分解して洗浄・除去します。

- ①機械類に付着しても水で洗い流せます。
- ②火災の心配が少なく安心です。

■用途

油脂除去用強力洗浄剤

■荷姿

ミラククリーナー 10kg ポリ缶

■標準施工仕様

材 料	調 合 (重量比)	塗付量 (kg /㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)		備 考
				工程内	工程間	
ミ ラ ク ク リ ー ナ ー	既調合	0.15～0.20	1	—	3 以上	ジョーロにて散布

※洗浄後は、ミラクフロアーMHプライマーなどの湿潤面用プライマーを使用してください。

■施工要領

- (前 処 理) 付着物は予めケレン除去する。
- (ブラッシング工程) 散布後、30分以内にデッキブラシまたはワイヤーポリッシャーなどで十分にブラッシングする。
- (水 洗 工 程) 水洗いでミラククリーナーを完全に除去する。
- (乾 燥 工 程) 2～3 (冬期3～4) 時間乾燥させ、下地表面が白化してきたら次の工程に移る。

■注意事項

- ①取り扱い作業時には、ゴム手袋を着用してください。皮膚などに付着した場合は、速やかに水洗いしてください。
- ②洗浄後は下地表面が白色になります。ただし、油が多く含浸し、数時間後に油が再び表面へ移行して黒くなるような場合は、下地表面を適宜ケレン除去してください。
- ③実際にご使用になる場合は、製品容器に記載されている注意事項をご確認ください。

二液反応硬化型エポキシプライマー

ミラクフロアーMHプライマー

■特長

湿潤・湿油した下地をミラククリーナーで洗浄し、乾燥させた後に使用します。

- ①乾燥養生が不十分な場合でも (含水率 15% 以下) 施工でき、工期の短縮が図れます。
- ②多少の湿油面でもミラククリーナーで洗浄後、施工することができ、各種塗床材の塗付が可能になります。

■用途

湿潤・湿油面の専用下塗材

■荷姿

★ミラクフロアーMHプライマー

主 剤 8kg 缶
硬化剤 8kg 缶

■標準施工仕様

材 料	調 合 (重量比)	塗付量 (kg /㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)		備 考
				工程内	工程間	
ミラクフロアーMHプライマー 主 剤	100	0.15～0.20	1	—	1 以上	ローラー、刷毛
ミラクフロアーMHプライマー 硬化剤	100					

※ウレタン樹脂系仕上材を塗付する場合には、24 時間以上の養生が必要です。

■品質性状

項 目	結 果	条 件
可 使 用 時 間(hr)	3.0	23℃
タックフリー(hr)	0.5	23℃

■注意事項

- ①水が溢れる湿潤面には施工できません。
- ②ミラククリーナーで洗浄した後は、3～4時間 (23℃) の乾燥が必要です。
- ③高密度コンクリート (カラーコンクリートなど) のような特殊下地は、ミラククリーナーでハードポリッシング洗浄を行ってください。
- ④脆弱コンクリートに施工する場合、表面を補強するなどの事前処理が必要です。

⑤湿潤・湿油の度合い確認のため、できるだけ本施工の前に試験施工を行ってください。

⑥洗浄には★EHシンナーをご使用ください。

⑦塗床材が★SK セラミフロアーの場合は、★SK # 2000 プライマーが必要です。

⑧実際にご使用になる場合は、必ず別途施工要領書をお読みいただき、施工時の注意事項などをご確認ください。

エポキシパテ

SK コークH

■特長

ひび割れの充てん用を使用し、皮膚毒性にも配慮した設計で、安全性に優れ、施工性も良好です。

- ①コンクリート・モルタルなどとの接着性に優れています。
- ②無溶剤性で、安全に配慮した設計です。
- ③耐水性、耐アルカリ性に優れています。

■用途

コンクリート・モルタルのひび割れ、段差補修

■荷姿

★SK コークH

A 剤 2kg 缶
B 剤 2kg 缶

■標準施工仕様

材 料	調 合 (重量比)	塗付量 (kg /㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)		備 考
				工程内	工程間	
S K コ ー ク H A 剤	100	適 宜	1	—	5 以上 7 日以内	パテべら、こてなどに より凹部へしごき塗り
S K コ ー ク H B 剤	100					

■品質性状

試 験 項 目	性 状
外 観	A 剤 淡桃色ペースト
	B 剤 淡青色ペースト

■可使時間

気温	製品の種類	
	S (夏型)	W (冬型)
5℃	120 分以内	60 分以内
20℃	60 分以内	30 分以内
35℃	45 分以内	—

■注意事項

- ①★SK コークHの取り扱いは、労働省労働基準局長通達第 477 号、並びに製品容器に表示された取り扱い注意事項を遵守してください。
- ②皮膚などに付着した場合は、速やかに水洗してください。
- ③主剤と硬化剤の混合攪拌が不十分な場合には硬化不良を起こすことがありますので、ご注意ください。
- ④実際にご使用になる場合は、必ず別途施工要領書をお読みいただき、施工時の注意事項などをご確認ください。

エポキシセメントモルタル

SKウェットフィラー

F★★★★

■特長

特殊変性エポキシ樹脂をベースにした、多機能型床用下地調整塗材です。

- ①若令コンクリート・湿潤コンクリートの塗床用下地調整塗材として効果を発揮し、下地コンクリートに浸透して固着性を高めます。
- ②若令コンクリートの養生膜として作用するため、従来工法より強固な下地が得られます。
- ③大幅な工期の短縮につながります。
- ④耐水性・耐アルカリ性・耐薬品性などに優れています。
- ⑤高強度のため、重歩行用下地調整に最適です。

■用途

- ①新設若令コンクリートモルタルの下地調整
- ②旧塗膜を侵さない改装下地の下地調整
- ③巣穴・ピンホールなどの目止め材
- ④脆弱下地の補強
- ⑤欠損部の補修、下地の不陸・段差修正

■荷姿

SKウェットフィラー

- ★主 剤 2kg 缶
- 硬化剤 4kg ポリ容器
- 粉 体 10kg 袋

※粉体については危険物に該当しません。

■標準施工仕様

しこき塗り

(23℃)

材 料	調 合 (重量比)	塗付量 (kg /㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)		備 考
				工程内	工程間	
SKウェットフィラー 主 剤	20	0.6～ 1.0	1	－	8 以上	こて、パテべら、 ゴムへら
SKウェットフィラー 硬化剤	40					
SKウェットフィラー粉 体	100					
清 水	0～4	－				

流し延べ塗り

(23℃)

材 料	調 合 (重量比)	塗付量 (kg /㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)		備 考
				工程内	工程間	
SKウェットフィラー 主 剤	20	1.0～ 1.5	1	－	8 以上	こて、パテべら、 ゴムへら
SKウェットフィラー 硬化剤	40					
SKウェットフィラー粉 体	100					
清 水	0～4	－				

欠損補修

(23℃)

材 料	調 合 (重量比)	塗付量 (kg /㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)		備 考
				工程内	工程間	
SKウェットフィラー 主 剤	20	18 (10mm)	1	－	8 以上	こて、パテべら
SKウェットフィラー 硬化剤	40					
SKウェットフィラー粉 体	100					
け い 砂 7 号	40					
清 水	20～30	－				

■注意事項

- ①脆弱部及び付着物はケレン除去してください。程度によりディスクサンダーや機械ケレンを行う必要があります。
- ②★SKウェットフィラーの強度は非常に強く、下地を引っ張ることがあるため、新設モルタルなどは必ずレイトンス層の除去を行ってください。また、新設コンクリートの場合、コンクリート打設後浮き水がなくなり次第、表層のレイトンスを除去してください。
- ③旧塗膜は付着性が十分にあることを確認しておいてください。
- ④吸い込みのある下地は予め散水を行い、吸い込みを止めておいてください。
- ⑤ひび割れや段差修正は予め行い、補修材が硬化してから「しこき塗り」などで施工してください。
- ⑥油潤面の改装の場合、予めミラククリーナーで洗浄・脱脂しておいてください。
- ⑦調合方法は、まず主剤・硬化剤を十分に混合攪拌した後、粉体・清水・けい砂などを投入してください。
- ⑧皮膚に刺激を与える場合がありますので、取り扱いには十分注意してください。
- ⑨★SKウェットフィラーは混合後、可使時間内(23℃で20分)に使い切ってください。
- ⑩弾性系塗床材の上には施工できません。
- ⑪実際にご使用になる場合は、必ず別途施工要領書をお読みいただき、施工時の注意事項などをご確認ください。

注 意 点

ご使用前には各製品容器に記載の注意事項をよくお読みください。

当カタログでは、一般的な施工仕様を記載しています。下地の種類及び状況、用途などにより仕様が変わることがあります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせいただくか、それぞれの施工要領書を別途ご参照ください。

気 象 条 件

[施 工 時 の 天 候]
[施 工 時 の 温 度]

- 室内であっても、降雨・降雪時あるいはそのおそれがある場合は、できるだけ施工を避けてください。
- 一般的に、温度が低くなるほど材料の粘度は高くなり、ローラー塗り、刷毛塗り、こて塗りなどの作業性が悪くなります。また、温度が低くなるほど乾燥速度や硬化速度も遅くなりますので、5℃以下での施工は避けてください。一方、温度が高くなるほど可使時間が短くなりますので、塗り継ぎなどの問題が生じないようにご注意ください。なお、材料の保管やネタ場などは、直射日光の当たらない風通しの良い場所にしてください。夏期と冬期に使用する材料を区分けしている製品もありますので、必ず施工時の温度に適した材料を使用してください。
- 相対湿度 85%以上の高湿度下では、塗膜の白化、艶引け、発泡、硬化不良、付着不良の原因となることがありますので、相対湿度 85%以上での施工は避けてください。一方、低湿度下でセメント系下地調整塗材を施工すると、急激に乾燥して、硬化不良やドライアウトを起こす原因となることがありますので、ご注意ください。

施 工 条 件

[換 気]

- 風通しの悪い場所や室内で施工すると、塗膜に含まれる水分や有機溶剤などの蒸気が滞留し、塗膜の乾燥が遅くなったり、硬化不良の原因となる場合があります。特に有機溶剤の蒸気密度は空気よりも大きく、発生した蒸気は床面に滞留しやすい傾向がありますので、必ず強制換気装置を設置してください。

[下 地 調 整]

- 下地にピンホールがある場合は、専用プライマーとセメントを 100 対 0 ~ 20 (重量比) で混合したものをこてでしごき、表面を平滑にしてください (水性アーキフロアープライマー、水性速硬型ミラクフロアープライマーは、この手法を適用できません)。
- コンクリートなどの下地はよく乾燥させ、含水率 5%以下、pH 8 ~ 10 としてください。また、新築の場合、コンクリート打設後、夏期で 2 週間以上、冬期で 4 週間以上を目安としてください。特に、新築コンクリートモルタル面の場合、レイタンスなどの理由により下地表面強度が低いことがありますので、ポリリッシャー等による洗浄を行ってください。
- ガム、油脂類などの付着物は完全に除去し、突起物はディスクサンダーで削り、平滑にしてください。段差などの大きな不陸部分は、施工目的に応じた下地調整塗材を使用し、表面が平滑になるように補修してください。
- その他の下地調整方法については、別途、施工要領書をご参照ください。
- 二液混合タイプの塗床材は、可使時間があります。可使時間内に施工可能な量だけ混合して使用してください。
- 材料は開缶後十分に攪拌してから、必ず計量器を使用し、各製品缶に記載されている比率を厳守して混合してください。また、混合したものは必ず低速攪拌機を使用して均一になるように十分混合攪拌してください。なお、容器壁に付着した材料は混合不良となっていますので、ゴムへらなどでかき落とすなどして使用しないでください。

その他の留意事項

- ★アーキフロアーEHマイルド、★アーキフロアーEH、★アーキフロアーEH無溶剤、★アーキフロアーEH無溶剤ローラー、水性速硬型ミラクフロアーを直射日光の当たる箇所または紫外線の影響を受ける部位に施工すると変色しますので、使用しないでください。
- 希釈には必ず当社の専用シンナーを使用してください。その他のシンナーを使用すると、色むらや硬化不良、発泡などの原因となりますので、ご注意ください。
- シンナー、清水による過剰希釈並びに極端な薄塗りは、硬化不良や変色などの原因となりますので、ご注意ください。
- 混合攪拌した材料を容器中に入れたまま放置しておくと、蓄熱して可使時間が短くなりますので、二液反応硬化型材料の場合、攪拌後は小分けするか、できるだけ速やかに塗付してください。

危険情報と安全対策

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート (SDS) に従ってください。すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないでください。

各 種 共 通

[応 急 処 置]

- 蒸気を吸入した場合は、空気の清浄な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。その後、医師の診断を受けてください。
- 誤飲した場合は、直ちに医師の診断を受け、無理に吐かせないでください。
- 眼に入った場合は、清浄な水で十分洗い流し、痛みが残る場合は医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、付着した衣服等は直ちに脱ぎ、清浄な水で皮膚を洗ってください。炎症や刺激がある場合は医師の診断を受けてください。
- 漏出した場合は、漏出物を速やかに回収してください。
- 廃材、容器、養生材、ウエス等は、自分で破壊・焼却せず、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処分を委託してください。
- 容器に中身を残したまま廃棄したり、火気を当てたりしないでください。
- 有害物質を含みますので、排水路・下水・河川への排出及び地下浸透をしないでください。
- 容器を密封し、凍結・直射日光を避け 5 ~ 40℃の乾燥した換気の良い場所、及び部外者や子供が出入りできない場所に一定の管理の出来る場所を定め、施錠して保管してください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり、危険です。(製品の種類によって異なる注意事項は、別途、種類別に記載してありますので、ご参照ください。)
- 製品の種類によって異なります。別途、種類別に記載してありますので、ご参照ください。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- 製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

溶 剤 形 塗 料

溶剤形塗料は特に下記の点にご注意ください。

1. 引火性可燃物ですので、火気厳禁です。
 2. 有機溶剤中毒や皮膚障害を起こすおそれがあるため、取り扱い時は保護具を着用してください。
 3. 業務用「塗料」ですので、本来の用途以外には使用しないでください。
- ※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

[保 管 及 び 取 り 扱 い]	■保管場所及び取り扱い場所とその周辺は、塗装中乾燥中ともに熱／火花／裸火／高温体のような着火源を遠ざけ火気厳禁としてください。特に乾燥中は蒸発の面積が広がるため、短時間に多量の引火性の高い蒸気が発生しますので、注意してください。 ■合成樹脂などの電気絶縁性の床での保管や取り扱いをしないでください。また、導電靴や帯電防止の衣服を着用してください。 ■ご使用の場合、使用機器（電気機器/換気装置/照明機器/工具等）は防爆型及び導電型のものを使用し、アースを取ってください。
[安 全 衛 生]	■消火には粉末、二酸化炭素、泡消火器または水を噴霧してください。棒状の水を直射すると飛散して危険です。 ■ご使用前には、製品容器に記載の注意事項をよくお読みください。特に、荷姿欄に★印のついている製品は溶剤形で引火性可燃物の為、火気厳禁です。 ■揮発性の溶剤を含むため、皮膚に触れたり蒸気を吸入すると、皮膚障害や中毒を起こすおそれがありますから取り扱いには以下の注意事項を守ってください。 ①取り扱い場所には局所排気装置を設けてください。 ②容器から出し入れする時は、こぼれないようにしてください。 ③取り扱い中は皮膚に触れたり、蒸気やミストの吸入を避けてください。必要に応じ、防塵マスク、保護メガネ、不浸透性の保護手袋、前掛け等を着用し、また、顔・手・腕には保護クリームを塗って直接皮膚に触れないようにしてください。 ④作業衣などに付着した場合は、その汚れをよく落としてください。 ■施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

硬 化 剤

	硬化剤は、特に下記の点にご注意ください。 1. 引火性可燃物ですので、火気厳禁です。 2. 有機溶剤中毒や皮膚障害を起こすおそれがあるため、取り扱い時は保護具を着用してください。 3. 業務用「塗料」ですので、本来の用途以外には使用しないでください。 ※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。
[保 管 及 び 取 り 扱 い]	■保管場所及び取り扱い場所とその周辺は、塗装中乾燥中ともに熱／火花／裸火／高温体のような着火源を遠ざけ火気厳禁としてください。特に乾燥中は蒸発の面積が広がるため、短時間に多量の引火性の高い蒸気が発生しますので、注意してください。 ■合成樹脂などの電気絶縁性の床での保管や取り扱いをしないでください。また、導電靴や帯電防止の衣服を着用してください。 ■ご使用の場合、使用機器（電気機器/換気装置/照明機器/工具等）は防爆型及び導電型のものを使用し、アースを取ってください。
[安 全 衛 生]	■消火には粉末、二酸化炭素、泡消火器または水を噴霧してください。棒状の水を直射すると飛散して危険です。 ■ご使用前には、製品容器に記載の注意事項をよくお読みください。特に、荷姿欄に★印のついている製品は溶剤形で引火性可燃物の為、火気厳禁です。 ■揮発性の溶剤を含むため、皮膚に触れたり蒸気を吸入すると、皮膚障害や中毒を起こすおそれがありますから取り扱いには以下の注意事項を守ってください。 ①取り扱い場所には局所排気装置を設けてください。 ②容器から出し入れする時は、こぼれないようにしてください。 ③取り扱い中には皮膚に触れたり、蒸気ミストの吸入を避けてください。必要に応じ、防毒マスクまたは送気マスク、保護メガネ、不浸透性の保護手袋、前掛け等を着用し、また、顔・手・腕には保護クリームを塗って直接皮膚に触れないようにしてください。 ④皮膚に付着した場合は、速やかに大量の水で洗ってください。また、大量の蒸気を吸入した場合は、速やかに医師の診断を受けてください。 ⑤作業衣などに付着した場合は、その汚れをよく落としてください。 ⑥液がこぼれた場合は、中和剤を散布した後で処理してください。 ■施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

希 釈 用 溶 剤

	希釈用溶剤は、特に下記の点にご注意ください。 1. 引火性可燃物ですので、火気厳禁です。 2. 有機溶剤中毒や皮膚障害を起こすおそれがあるため、取り扱い時は保護具を着用してください。 3. 業務用「塗料」ですので、本来の用途以外には使用しないでください。 ※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。
[保 管 及 び 取 り 扱 い]	■保管場所及び取り扱い場所とその周辺は、塗装中乾燥中ともに熱／火花／裸火／高温体のような着火源を遠ざけ火気厳禁としてください。特に乾燥中は蒸発の面積が広がるため、短時間に多量の引火性の高い蒸気が発生しますので、注意してください。 ■合成樹脂などの電気絶縁性の床での保管や取り扱いをしないでください。また、導電靴や帯電防止の衣服を着用してください。 ■ご使用の場合、使用機器（電気機器/換気装置/照明機器/工具等）は防爆型及び導電型のものを使用し、アースを取ってください。
[安 全 衛 生]	■消火には粉末、二酸化炭素、泡消火器または水を噴霧してください。棒状の水を直射すると飛散して危険です。 ■ご使用前には、製品容器に記載の注意事項をよくお読みください。特に、荷姿欄に★印のついている製品は溶剤形で引火性可燃物の為、火気厳禁です。 ■揮発性の溶剤を含むため、皮膚に触れたり蒸気を吸入すると、皮膚障害や中毒を起こすおそれがありますから取り扱いには以下の注意事項を守ってください。 ①取り扱い場所には局所排気装置を設けてください。 ②取り扱い中には皮膚に触れたり、蒸気ミストの吸入を避けてください。必要に応じ、防毒マスクまたは送気マスク、保護メガネ、不浸透性の保護手袋、前掛け等を着用し、また、顔・手・腕には保護クリームを塗って直接皮膚に触れないようにしてください。 ③容器から出し入れする時は、こぼれないようにしてください。 ■施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

水 性 塗 料

[安 全 衛 生]	■ご使用前には、製品容器に記載の注意事項をよくお読みください。 ■水性塗料（荷姿に★印のついていない製品）の取り扱いには以下の注意事項を守ってください。 ①取り扱い場所は換気をしてください。 ②取り扱い中には皮膚に触れたり、蒸気ミストの吸入を避けてください。必要に応じ、防毒マスクまたは送気マスク、保護メガネ、不浸透性の保護手袋、前掛け等を着用し、また、顔・手・腕には保護クリームを塗って直接皮膚に触れないようにしてください。
--------------------	---



エスケー化研株式会社

本社 大阪府茨木市中穂橋3-5-25 ☎072-621-7733
東京支社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601

国際事業本部 ☎072-621-7727

札幌支店 ☎011-784-4000 千葉支店 ☎043-304-0411 北陸支店 ☎076-266-1041 大阪支店 ☎072-621-7721 高松支店 ☎087-865-5411
旭川営業所 ☎0166-51-8094 水戸営業所 ☎029-251-6515 横濱営業所 ☎045-820-2400 京都営業所 ☎075-646-3967 松山営業所 ☎089-958-3780
仙台支店 ☎022-259-2431 宇都宮営業所 ☎028-657-5555 横浜支店 ☎045-820-5525 大阪営業所 ☎072-621-7722 北九州営業所 ☎093-621-8505
東京支店 ☎03-3204-6601 横浜支店 ☎045-820-2400 京都支店 ☎075-646-3967 広島支店 ☎082-943-5043 福岡支店 ☎092-622-5561

札幌営業所 ☎011-784-4000 松本営業所 ☎0263-24-2677 三多摩営業所 ☎042-564-5806 三重営業所 ☎059-254-3777 高松営業所 ☎087-865-5411
旭川営業所 ☎0166-51-8094 水戸営業所 ☎029-251-6515 横濱営業所 ☎045-820-2400 京都営業所 ☎075-646-3967 松山営業所 ☎089-958-3780
仙台支店 ☎022-259-2431 宇都宮営業所 ☎028-657-5555 横浜支店 ☎045-820-5525 大阪営業所 ☎072-621-7722 北九州営業所 ☎093-621-8505
東京支店 ☎03-3204-6601 横浜支店 ☎045-820-2400 京都支店 ☎075-646-3967 広島支店 ☎082-943-5043 福岡支店 ☎092-622-5561
青森営業所 ☎017-762-3855 東京支店 ☎03-3204-6602 静岡営業所 ☎054-294-1877 南大阪営業所 ☎072-253-1910 福岡支店 ☎092-622-5562
盛岡営業所 ☎019-654-8380 東京支店 ☎03-3204-6603 浜松営業所 ☎053-462-7021 神戸支店 ☎078-686-0520 大分営業所 ☎097-555-9081
郡山営業所 ☎024-962-7673 千葉営業所 ☎043-304-0411 三河営業所 ☎0564-28-1614 姫路営業所 ☎079-281-5311 長崎営業所 ☎095-897-0871
秋田出張所 ☎018-883-0230 千葉支店 ☎043-304-0413 北陸営業所 ☎076-266-1041 岡山営業所 ☎086-242-5520 熊本営業所 ☎096-344-5650
新潟営業所 ☎025-285-6551 埼玉営業所 ☎048-686-2391 名古屋営業所 ☎052-561-7712 岡山営業所 ☎086-242-5520 熊本営業所 ☎096-344-5650
群馬営業所 ☎027-280-5350 埼玉支店 ☎048-686-1586 名古屋支店 ☎052-561-7712 岡山支店 ☎086-242-5520 熊本支店 ☎096-344-5650
長野営業所 ☎026-239-6210 城東営業所 ☎03-3877-7770 岐阜営業所 ☎058-273-1981 山口営業所 ☎083-924-7575 山口営業所 ☎083-924-7575 沖縄営業所 ☎098-862-5041

大利根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このウェブサイトに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

URL <https://www.sk-kaken.co.jp>



特約販売店

[製作年月:2025年4月] (250400.Y-29R)